

野洲市子ども・子育て支援に関する
アンケート調査結果速報（案）

平成 31 年 3 月

野洲市

目 次

1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 本資料の見方.....	1
4 集計結果速報（主な設問の集計結果）.....	2
1. お子さんご家族の状況について.....	2
2. 保護者の就労状況について.....	5
3. 育児休業制度など職場の両立支援制度について.....	10
4. お子さんの平日の幼稚園・保育園などの利用状況について【就学前児童のみ】.....	12
5. 就学前のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の幼稚園・保育園の利用希望について【就学前のみ】	21
6. お子さんの病気の際の対応について.....	23
7. 幼稚園・保育園などの不定期の利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	26
8. お子さんの放課後の過ごし方について※.....	29
9. 子育て環境について.....	32

1 調査の目的

本市では、より一層の子育て支援施策の充実に向けて、次年度（2019年度）に「第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定します。（計画期間：2020年度～2024年度）

本調査は、計画の策定にあたり、子育て中の市民の現状や意見、子育て支援に関するニーズなどを把握し、市や国・県の子ども・子育て支援施策の検討に利用することを目的として実施したものです。

2 調査概要

- 調査地域：市全域
- 調査対象者：
市内在住の就学前の児童を養育する保護者（以下「就学前児童」という。）
市内在住の小学校の児童を養育する保護者（以下「小学校児童」という。）
- 調査基準日：平成30年4月1日
- 調査期間：平成30年11月28日（水）～平成30年12月21日（金）
- 調査方法：郵送による配布、回収
- 調査の回収状況：

種別	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,000	493	493	49.3%
小学校児童	1,000	464	464	46.4%

【参考】前回（平成25年度）調査の有効回収率：44.7%（就学前～小学4年生までを対象）

3 本資料の見方

- 本調査の中から、主な設問の集計結果を速報するものです。
- 回答結果の割合「%」は回答者数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）の設問の一部は、合計値が100.0%になるよう調整しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number）」は、集計対象となった回答者数（あるいは回答者を限定する設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

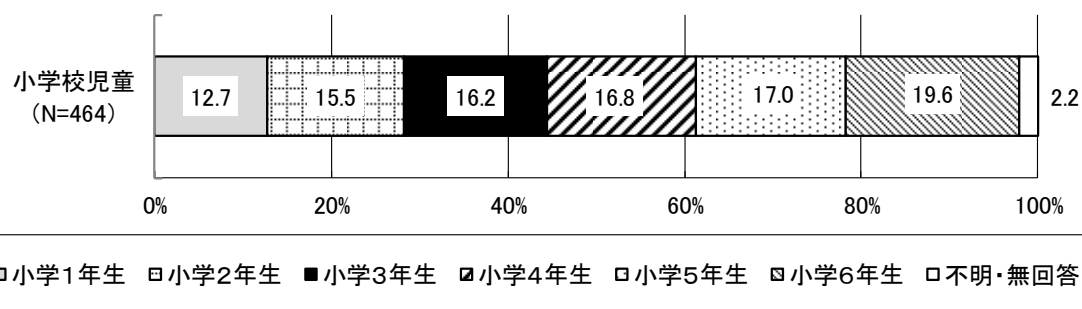
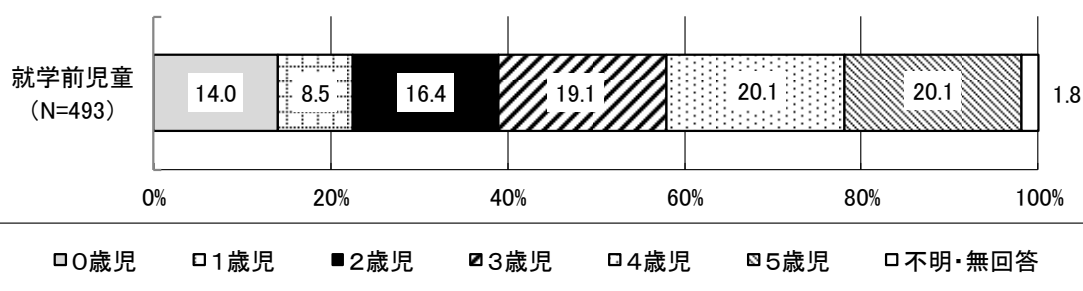
4 集計結果速報（主な設問の集計結果）

1. お子さんご家族の状況について

(1)

お子さんの年齢・学年（生年月日から算出）、
【就学前児童 問1（1）】【小学校児童 問1（1）】

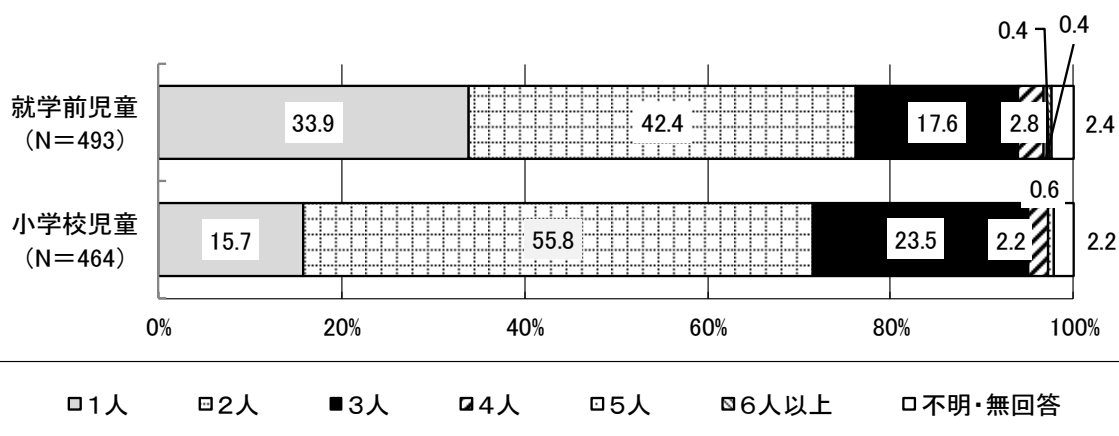
- 就学前のお子さんの年齢は、「4歳児」と「5歳児」が共に20.1%と最も高く、次いで「3歳児」が19.1%となっています。
- 小学校のお子さんの学年は、「小学校6年」が19.6%で最も高く、次いで「小学5年生」が17.0%となっています。



(2)

お子さんの人数（1つに○）
【就学前児童 問1（2）】【小学校児童 問1（2）】

- お子さんの人数は、就学前児童では「2人」が42.4%で最も高く、次いで「1人」が33.9%となっています。
- 小学校児童では、「2人」が55.8%で最も高く、次いで「3人」が23.5%となっています。

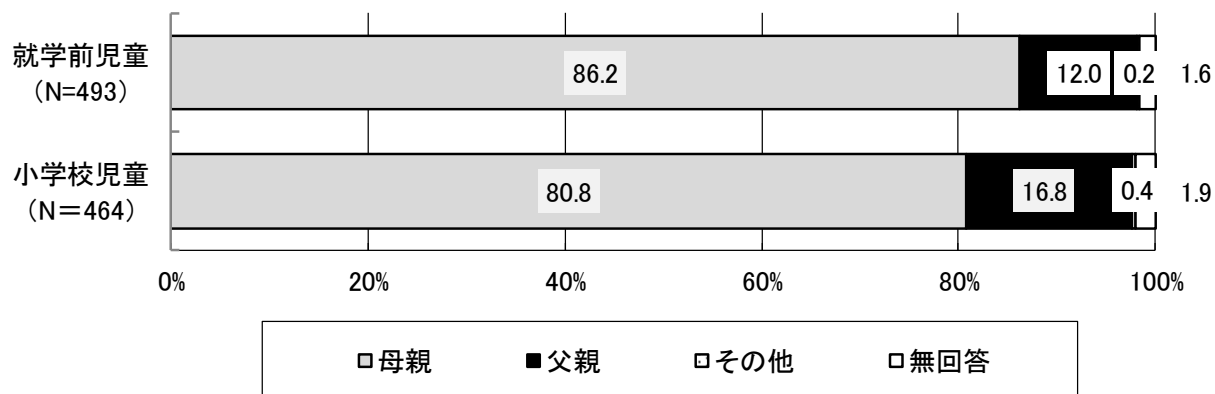


(3)

この調査票にご回答いただく方（1つに○）

【就学前児童 問1（4）】【小学校児童 問1（4）】

- 就学前児童では、「母親」が86.2%、「父親」が12.0%となっています。
- 低学年では、「母親」が80.8%、「父親」が16.8%となっています。

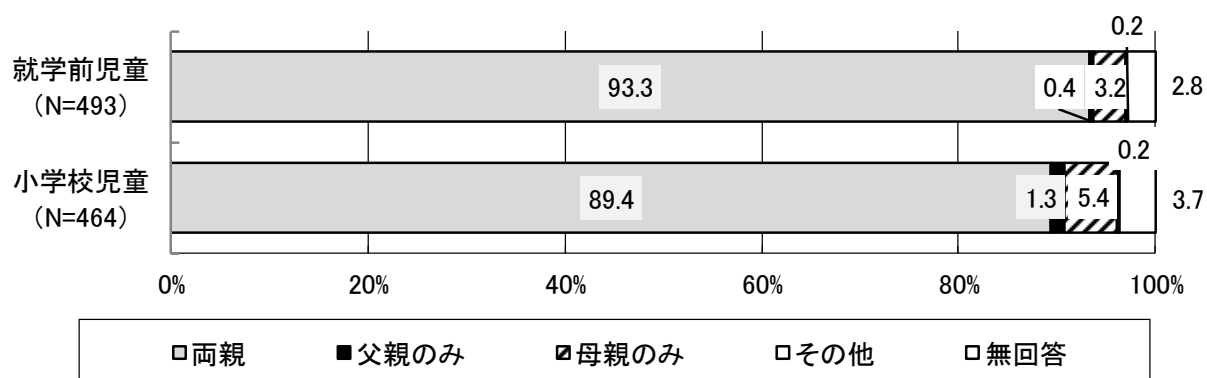


(4)

お子さんの保護者（1つに○）

【就学前児童 問1（5）】【小学校児童 問1（5）】

- 就学前児童では、「両親」が93.3%、「母親のみ」が3.2%、「父親のみ」が0.4%となっています。
- 小学校児童では、「両親」が89.4%、「母親のみ」が5.4%、「父親のみ」が1.3%となっています。



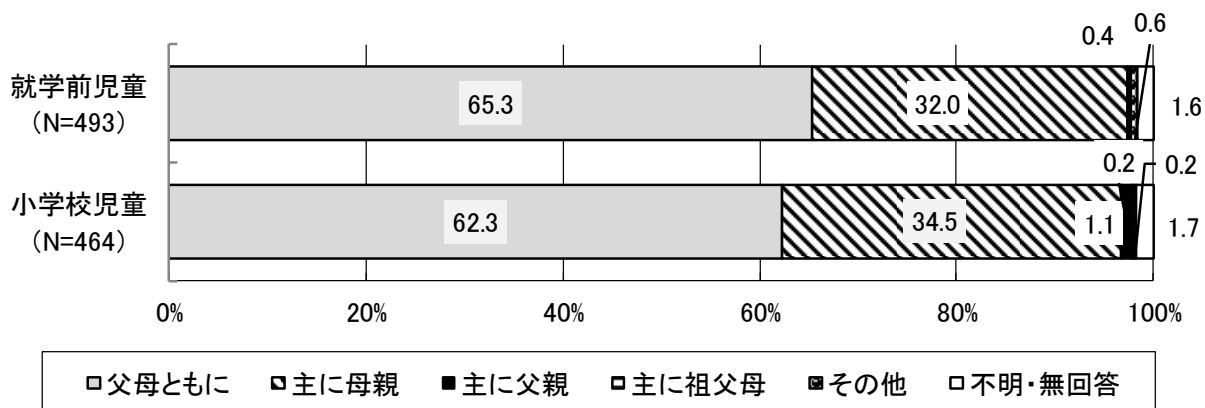
(5)

お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方（1つに○）

※お子さんからみた関係でお答えください。

【就学前児童 問1（6）】【小学校児童 問1（6）】

- 就学前児童では、「父母ともに」が65.3%と最も高く、次いで「主に母親」が32.0%で続いています。
- 小学校児童では、「父母ともに」が62.3%と最も高く、次いで「主に母親」が34.5%で続いています。

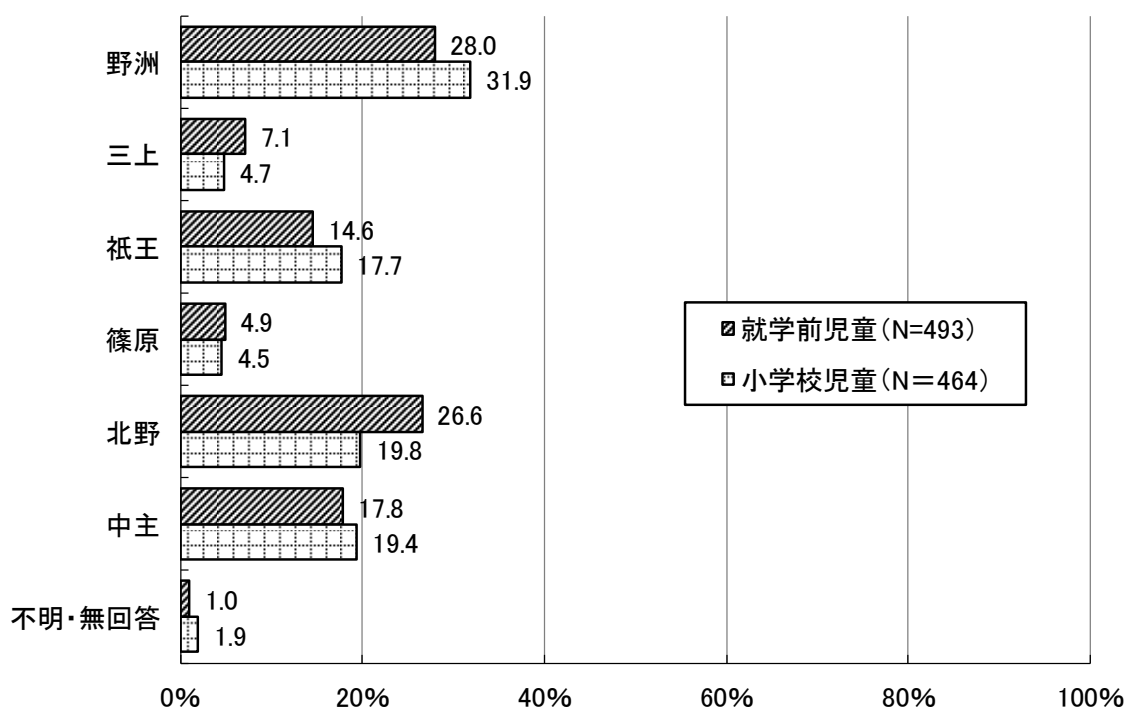


(6)

お住まいの小学校区（1つに○）

【就学前児童 問1（7）】【小学校児童 問1（7）】

- 就学前児童では、「野洲」が28.0%で最も高く、次いで「北野」が26.6%で続いています。
- 小学校児童では、「野洲」が31.9%で最も高く、次いで「北野」が19.8%、中主が19.4%で続いています。



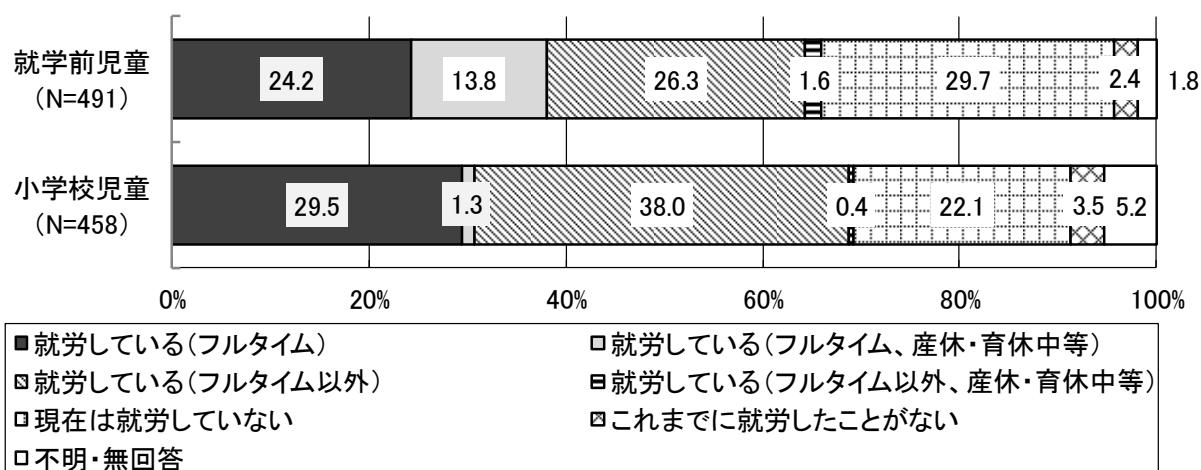
2. 保護者の就労状況について

(1)

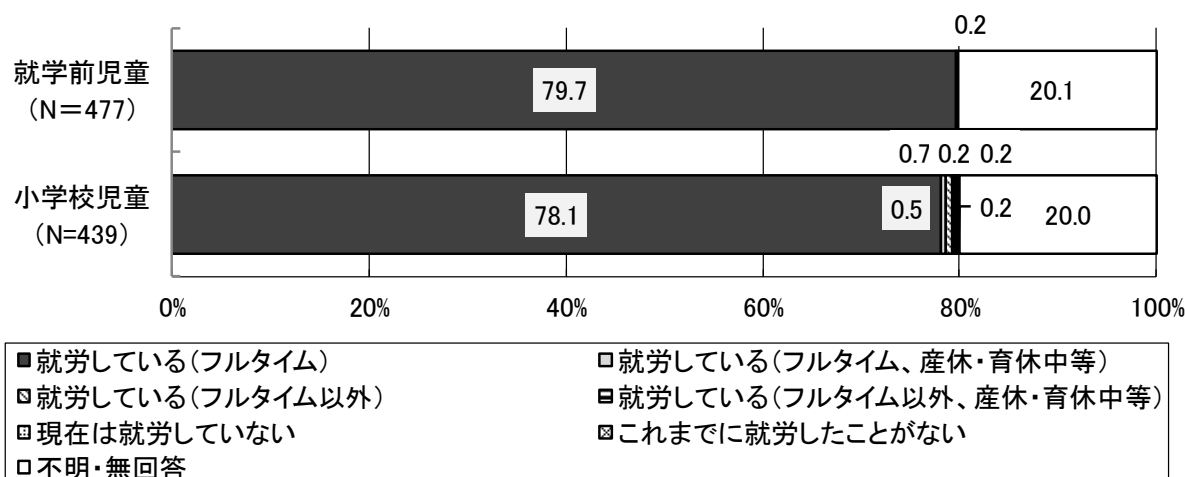
お子さんの保護者の現在の就労状況についてうかがいます。(1つに○)
【就学前児童 問2】【小学校児童 問2】

- 就学前児童の母親は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が29.7%で最も高く、次いで「フルタイム以外で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.3%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が24.2%と続いています。
- 小学校児童の母親は、「フルタイム以外で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が38.0%で最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が29.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が22.1%が続いています。
- 父親は、就学前、低学年のいずれも、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が80%程度で最も多くなっています。

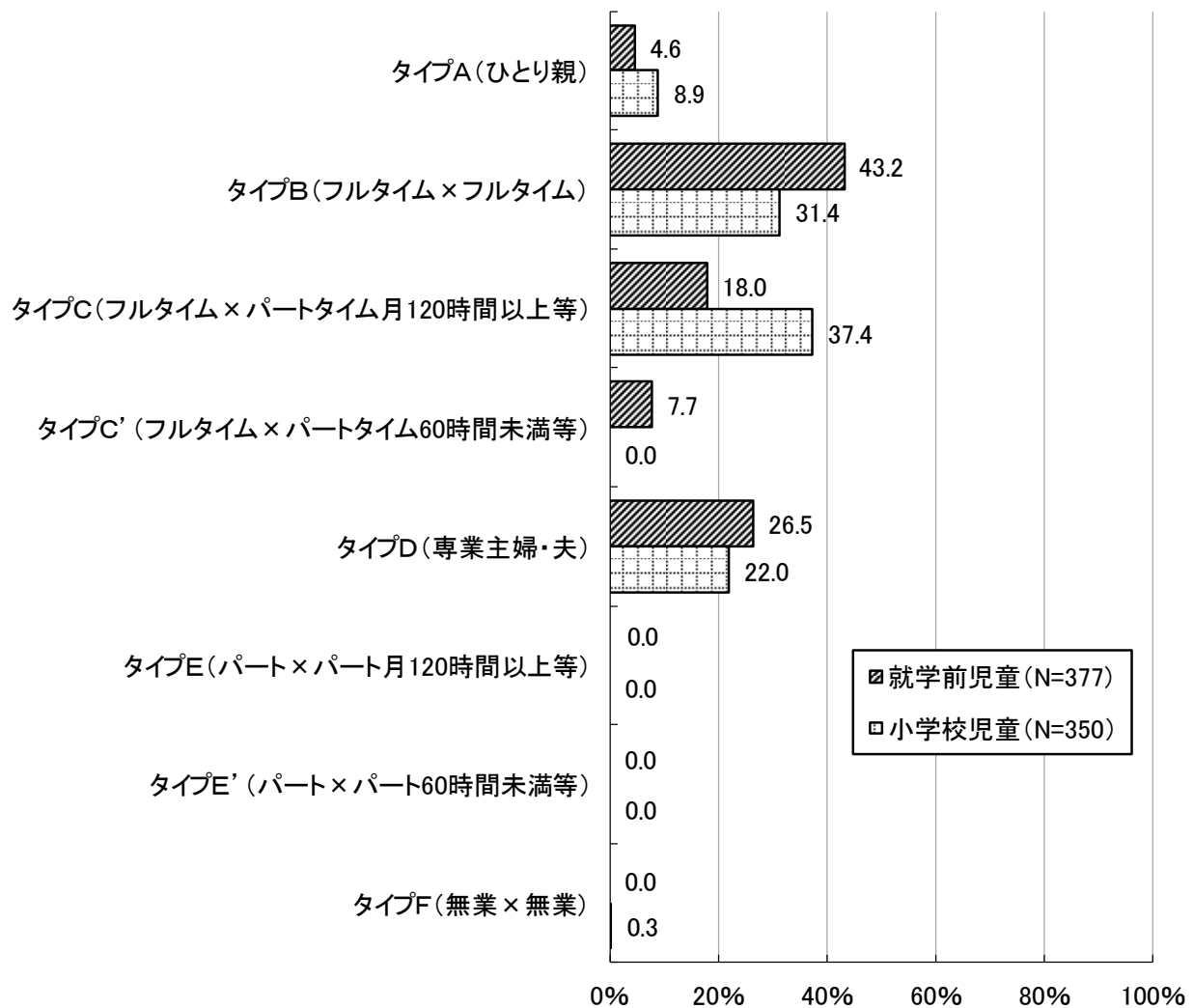
《母親》



《父親》



- 現在の家庭類型（保護者の就労等の状況で家庭を分類したもの）は、就学前児童では、「タイプB（フルタイム×フルタイム）」が43.2%で最も高く、次いで「タイプD（いずれか家事専業）」が26.5%、「タイプC（フルタイム×パートタイム月120時間以上等）」が18.0%で続いています。
- 小学校児童では、「タイプC（フルタイム×パートタイム月120時間以上等）」が37.4%で最も高く、次いで「タイプB（フルタイム×フルタイム）」が31.4%、「タイプD（いずれか家事専業）」が22.0%で続いています。



(2)

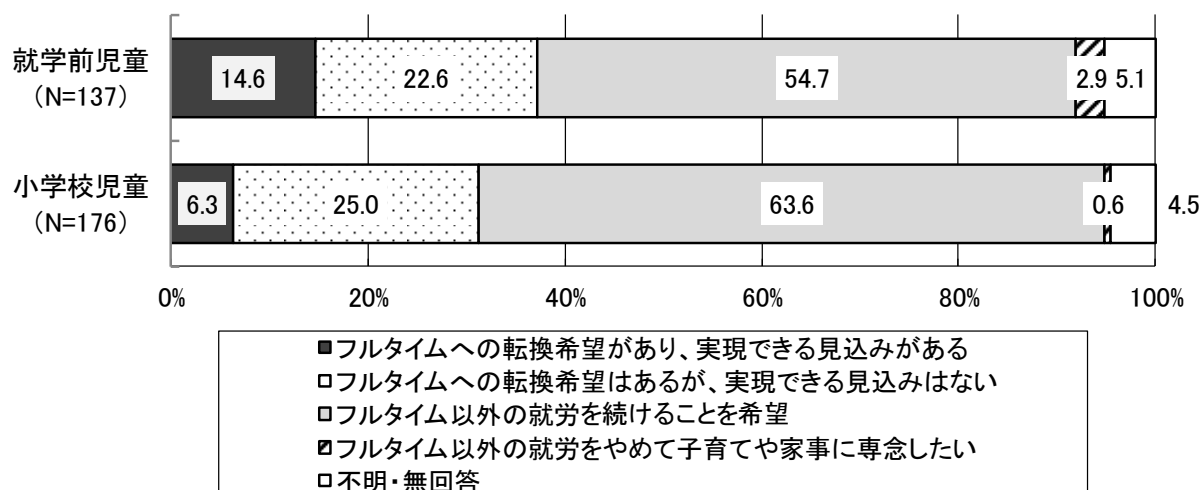
「就労している（フルタイム以外で、産休・育休・介護休業中ではない）」、「就労している（フルタイム以外で、産休・育休・介護休業中）」に○をつけた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。（1つに○）

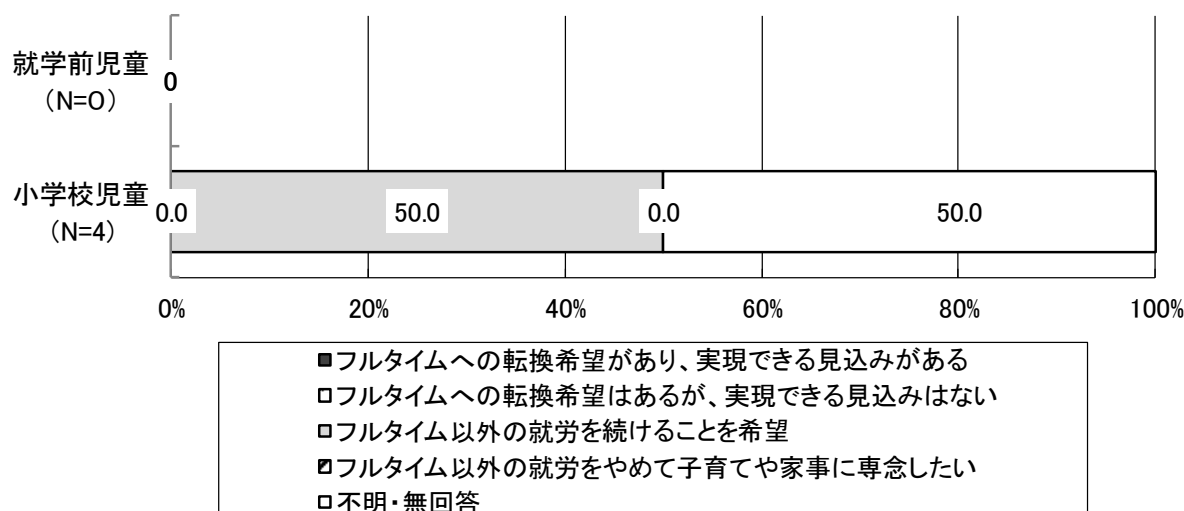
【就学前児童 問3】【小学校児童 問3】

- フルタイム以外の就労をしている方に対し、フルタイムへの転換希望をうかがったところ、就学前児童の母親では、「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が54.7%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が22.6%で続いています。
- 小学校児童の母親では、「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が63.6%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が25.0%となっています。
- 父親については、就学前児童では該当者はなく、小学校児童では「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が50.0%となっています。

《母親》



《父親》



(3)

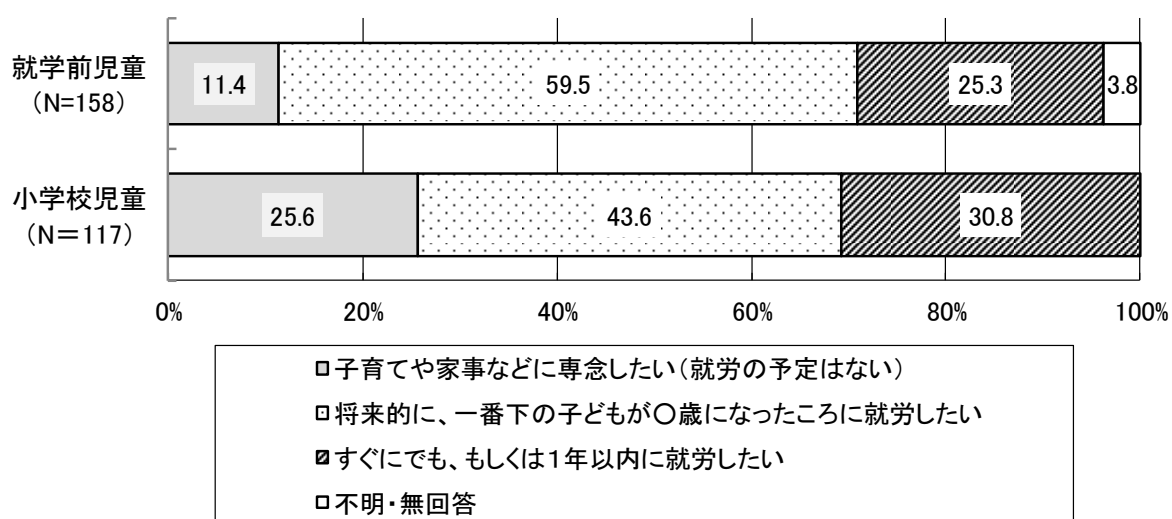
「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか（1つに○）

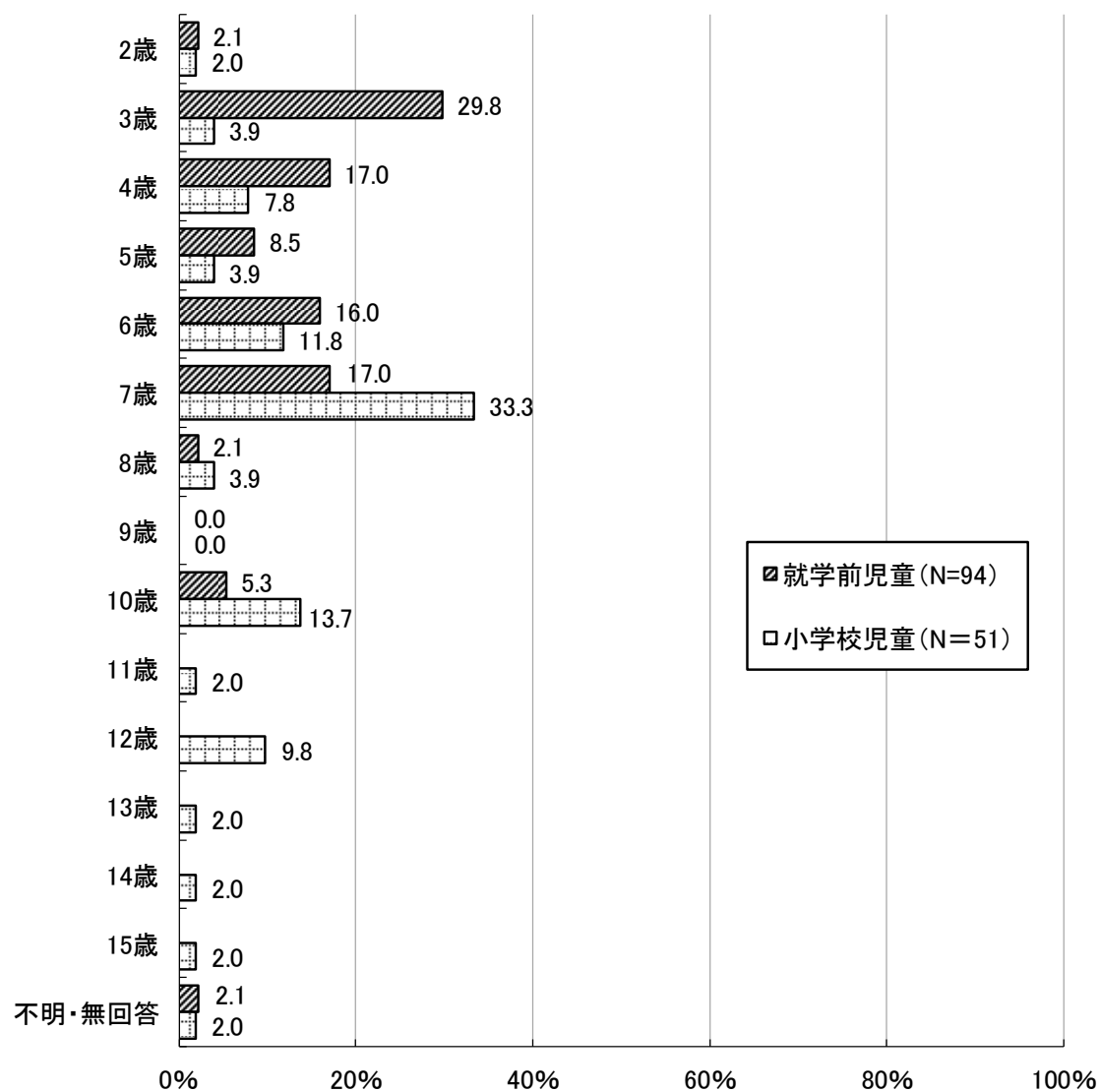
【就学前児童 問4】【小学校児童 問4】

- 「現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」方に対し、就労したいという希望はあるかうかがったところ、就学前児童の母親では、「将来的に、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい」が59.5%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が25.3%が続いています。
- 小学校児童の母親では、「将来的に、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい」が43.6%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が30.8%となっています。
- 母親の就労希望時期（一番下の子どもが○歳になったところに就労したい）については、就学前児童では、「3歳」が29.8%で最も高く、次いで「4歳」と「7歳」がともに17.0%が続いています。小学校児童では、「7歳」が33.3%で最も高く、次いで「10歳」が13.7%となっています。

《母親の就労希望》



《母親の就労希望時期》



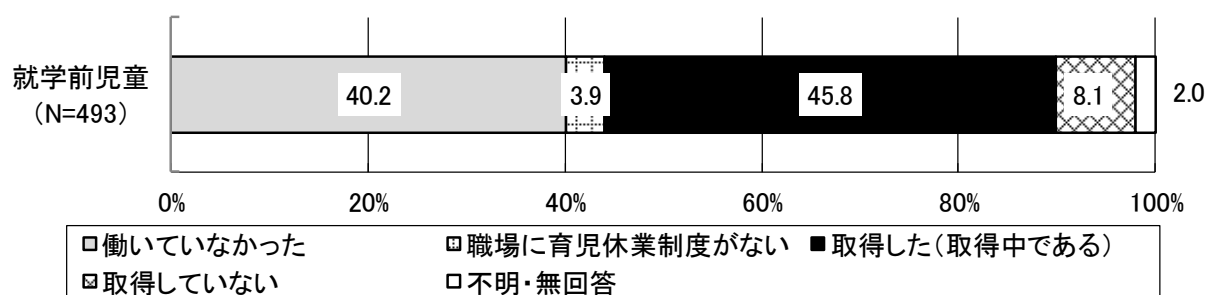
3. 育児休業制度など職場の両立支援制度について

(1)

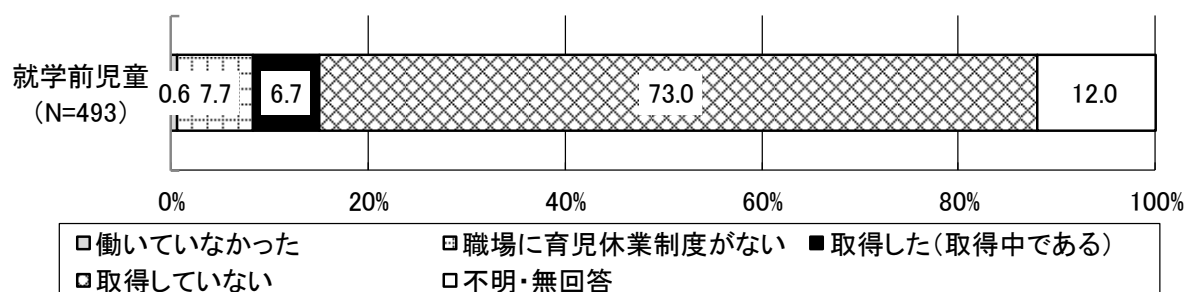
お子さんが生まれた時、父母のいずれかまたは双方が育児休業を取得しましたか。
(母親、父親それぞれについて、○は1つずつ)
【就学前児童 問5】

- 就学前児童の母親は、「取得した(取得中である)」が45.8%と最も高く、次いで「働いていなかった」が40.2%、「取得していない」が8.1%と続いています。
- 就学前児童の父親は、「取得していない」が73.0%と最も高く、次いで「職場に育児休業制度がない」が7.7%、「取得した(取得中である)」が6.7%と続いています。

《母親》



《父親》

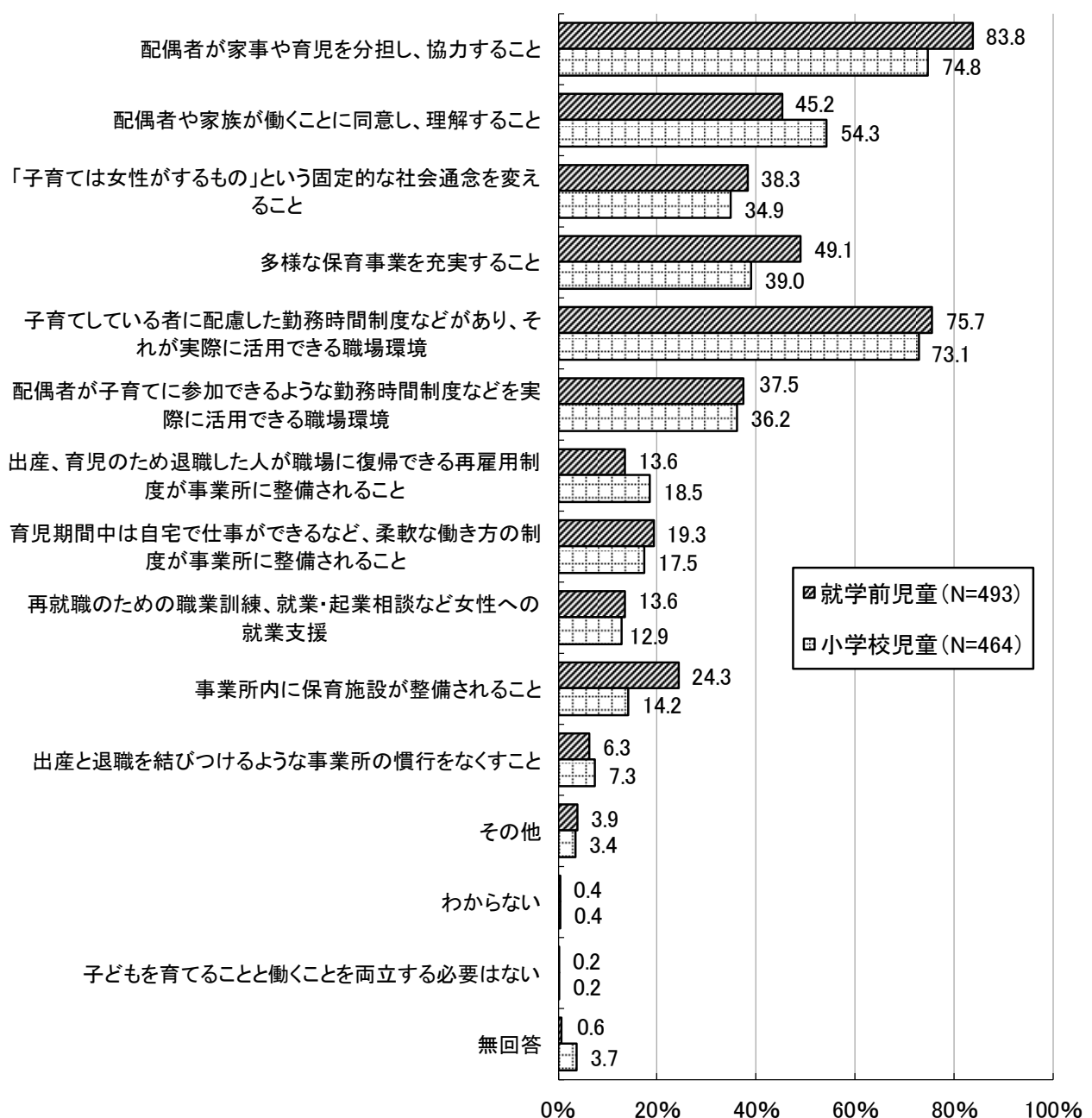


(2)

子どもを育てることと働くことを両立するために必要なことは、どのようなことだと思いますか。(〇は5つまで)

【就学前児童 問6】【小学校児童 問5】

- 就学前児童では、「配偶者が家事や育児を分担し、協力すること」が83.8%と最も高く、次いで「子育てをしている者に配慮した勤務時間制度などがあり、それが実際に活用できる職場環境」が75.7%、「多様な保育事業を充実すること」が49.1%と続いています。
- 小学校児童では、「配偶者が家事や育児を分担し、協力すること」が74.8%と最も高く、次いで「子育てをしている者に配慮した勤務時間制度などがあり、それが実際に活用できる職場環境」が73.1%、「配偶者や家族が働くことに同意し、理解すること」が54.3%と続いています。



4. お子さんの平日の幼稚園・保育園などの利用状況について

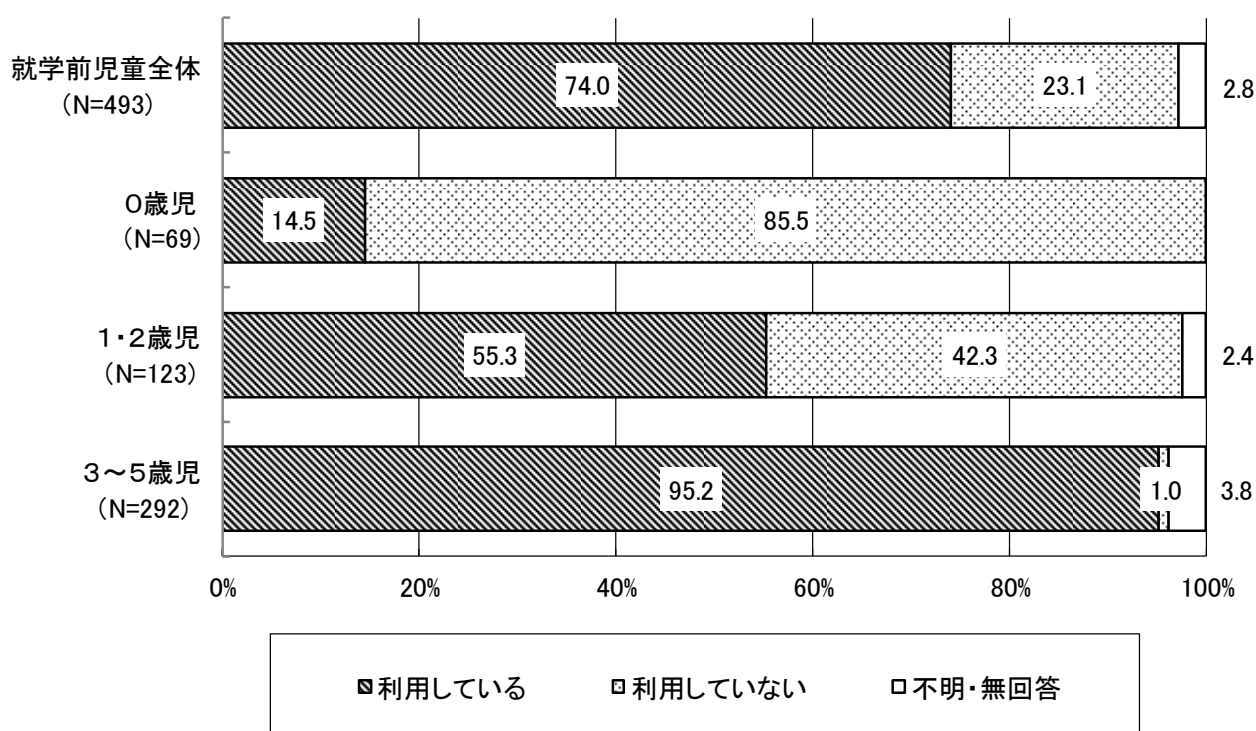
【就学前児童のみ】

(1)

お子さんは現在、幼稚園、こども園、保育園などの施設・事業を定期的にご利用していますか。(1つに○)

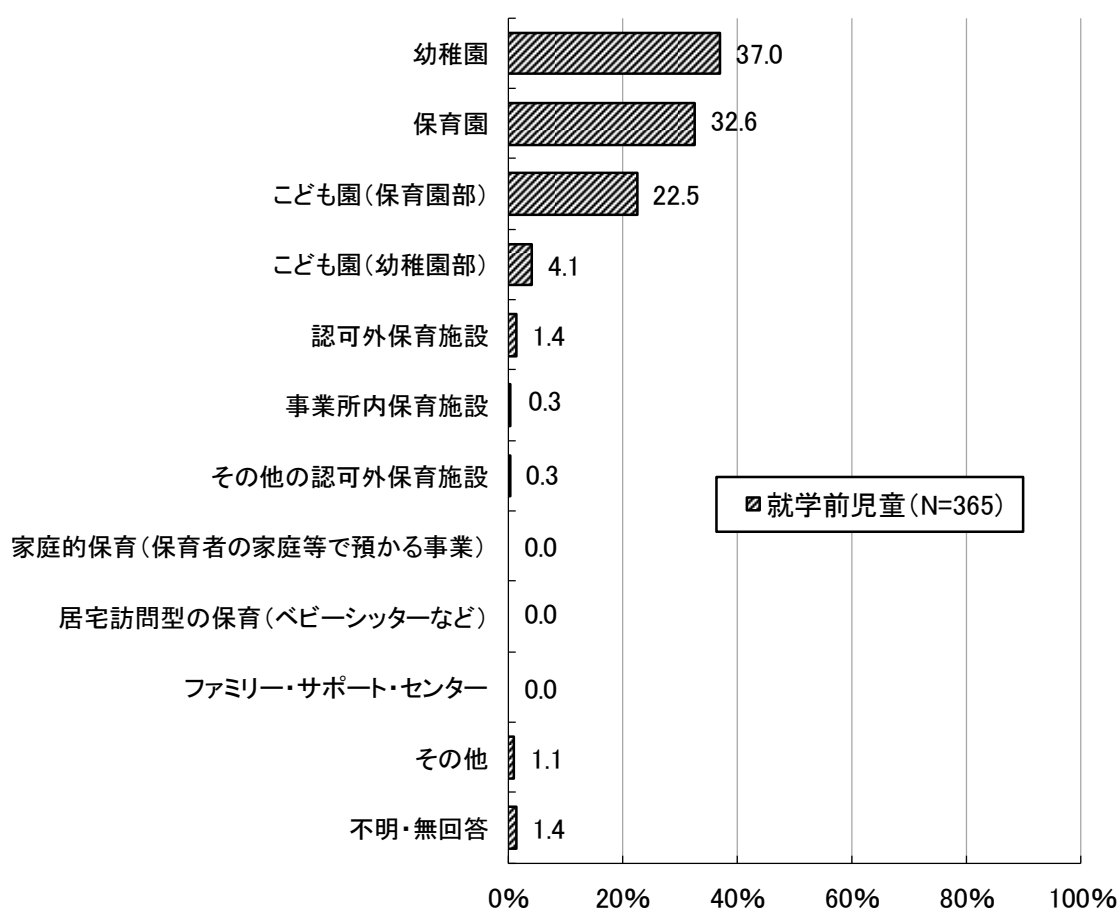
【就学前児童 問7】

- 就学前児童全体では、「利用している」が74.0%、「利用していない」が23.2%となっています。
- 年齢3区分別にみると、「利用している」は「3～5歳児」が95.2%で最も多く、次いで「1・2歳児」が55.3%、「0歳児」が14.5%となっています。

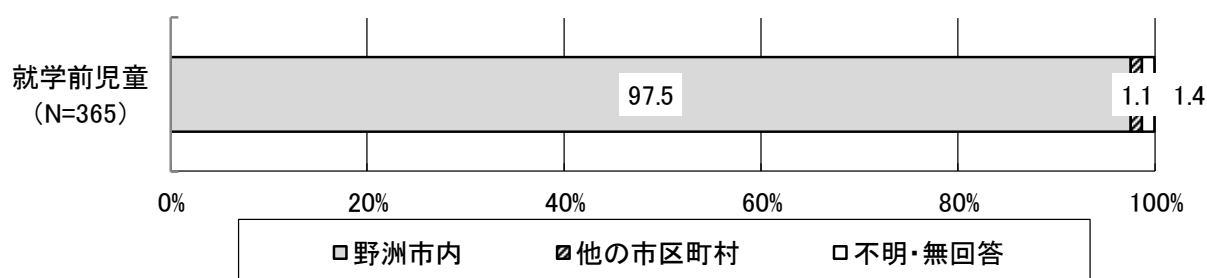


(2)	(1) で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。 お子さんが、年間を通じて平日に「定期的に」利用している施設・事業は、以下のどこですか。(すべてに○) 【就学前児童 問8・8-2】
-----	---

- 「幼稚園」が37.0%と最も高く、次いで「保育園」が32.6%、「こども園（保育部）」が22.5%、「こども園（幼稚園部）」が4.1%、「認可外保育施設」が1.4%が続いています。
- 現在利用している幼稚園・保育園などの場所については、「野洲市内」が97.5%、「他の市区町村」が1.1%となっています。



《現在利用している幼稚園・保育園などの場所（1つに○）》



《現在利用している施設・事業の内訳（すべてに○）》



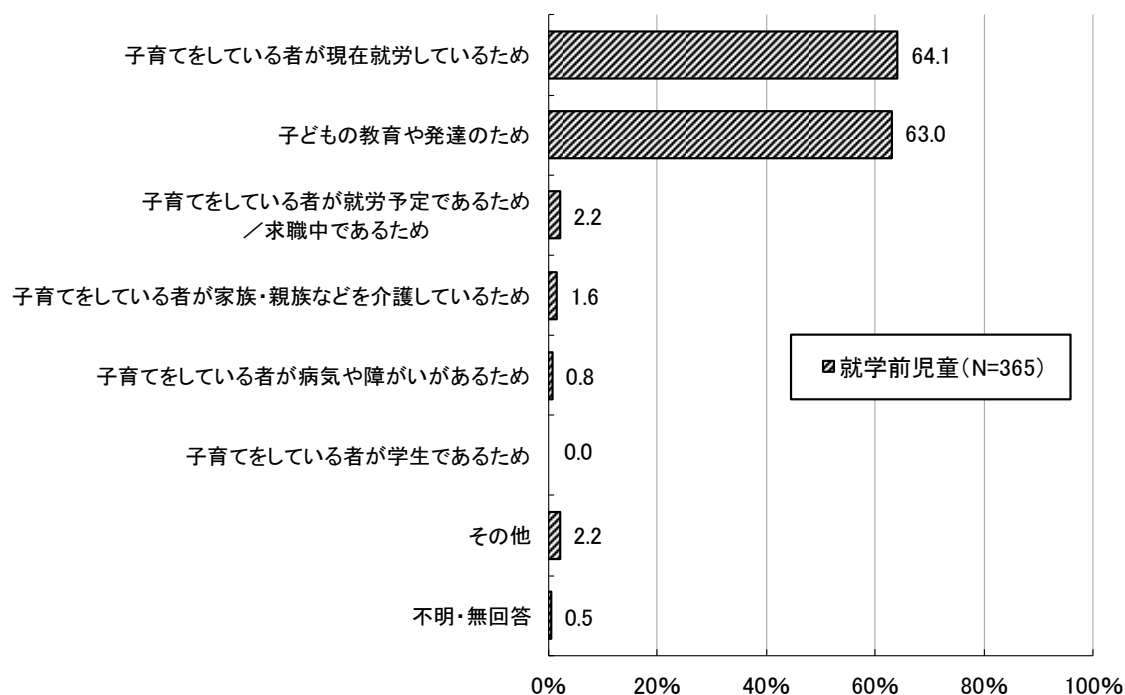
(3)

(1)で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

平日に定期的に幼稚園・保育園などを利用している理由をお答えください。
(すべてに○)

【就学前 問8-3】

- 「子育てをしている者が現在就労しているため」が64.1%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が63.0%と続いています。



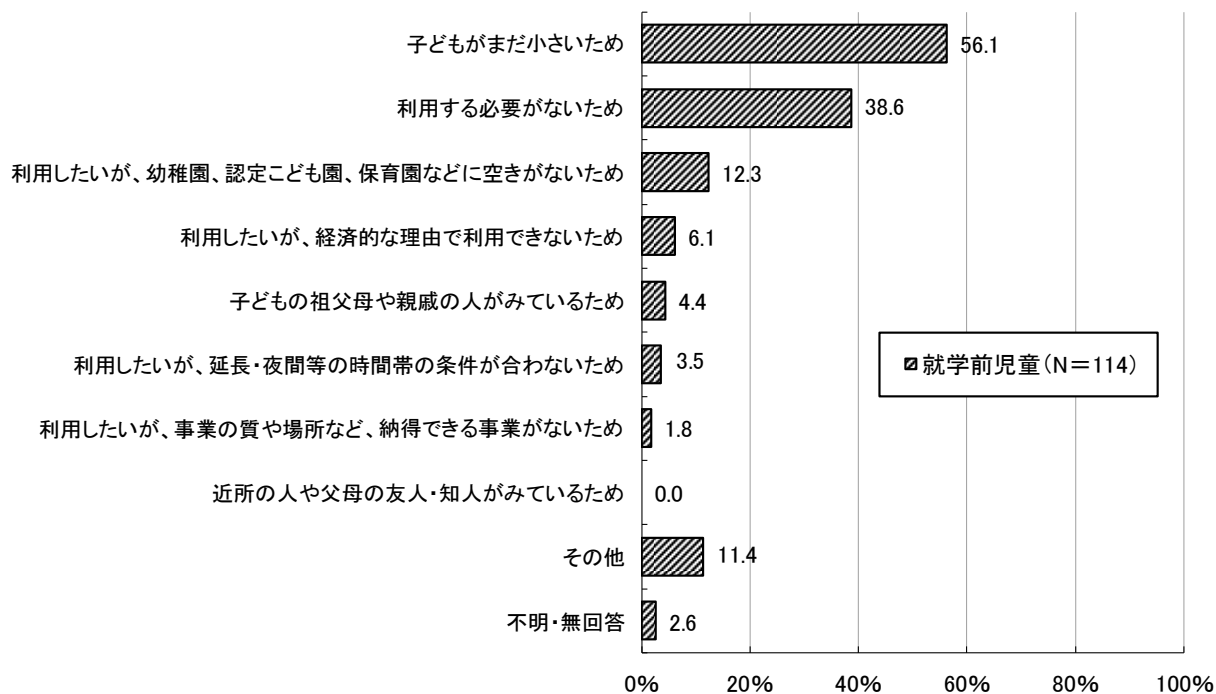
(4)

(1)で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。(すべてに○)

【就学前児童 問9】

- 「子どもがまだ小さいため」が71.5%と最も高く、次いで「利用したいが、希望する幼稚園、認定こども園、保育園などに空きがない」が14.0%と続いています。



(5)

教育・保育にかかる負担が無償（または上限ありの補助）となった場合、現在利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんについて利用したいと考える施設・事業をお答えください。（すべてに○）

【就学前児童 問10】

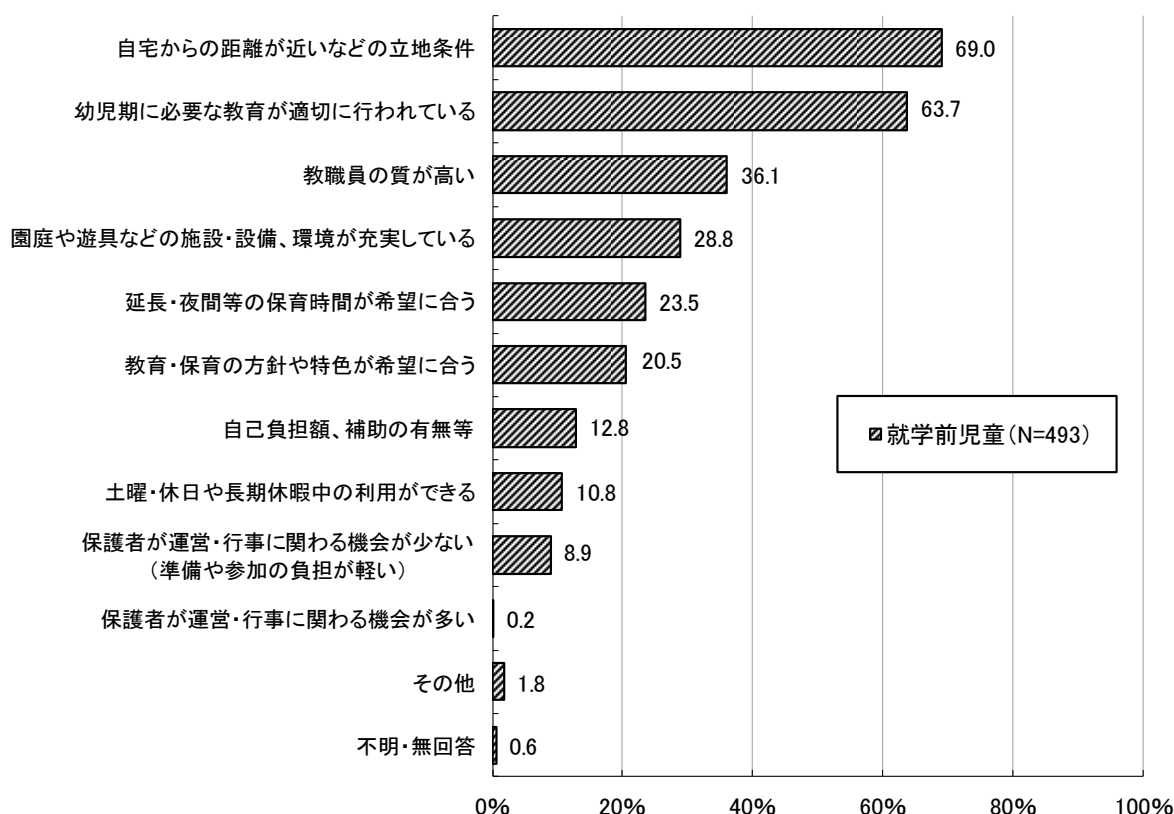
- 利用希望は、「変更するつもりはない」が18.9%と最も高く、次いで「ゆきはたこども園（保育園部）」が17.6%、「しみんふくし保育の家竹が丘」が14.2%、「北野幼稚園」が12.0%、「きたの保育園」が11.8%と続いています。



(6)

施設・事業を選ぶ上で重視する条件について、お答えください。(3つまで○)
【就学前児童 問11】

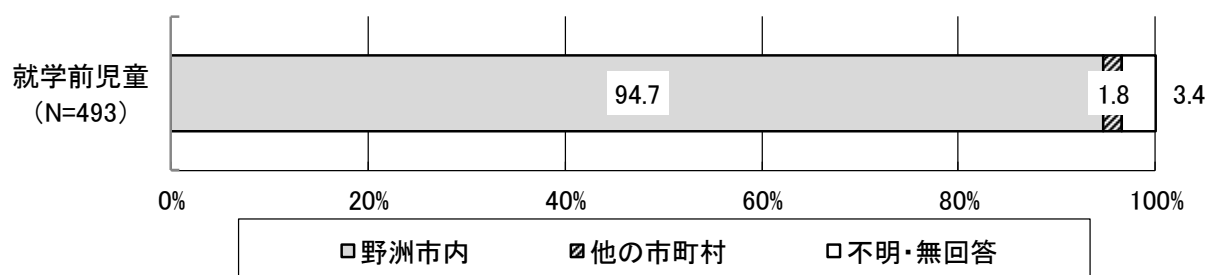
- 重視する条件は、「自宅からの距離が近いなどの立地条件」が69.0%と最も高く、次いで「幼児期に必要な教育が適切に行われている」が63.7%、「教職員の質が高い」が36.1%、「園庭や遊具などの施設・設備、環境が充実している」が28.8%と続いています。



(7)

来年度以降、利用したい幼稚園・保育園などの施設・事業の場所についてお答えください。
(1つに○)
【就学前児童 問12】

- 来年度以降、利用したい幼稚園・保育園などの場所は、「野洲市内」が94.7%、「他の市町村」が1.8%となっています。

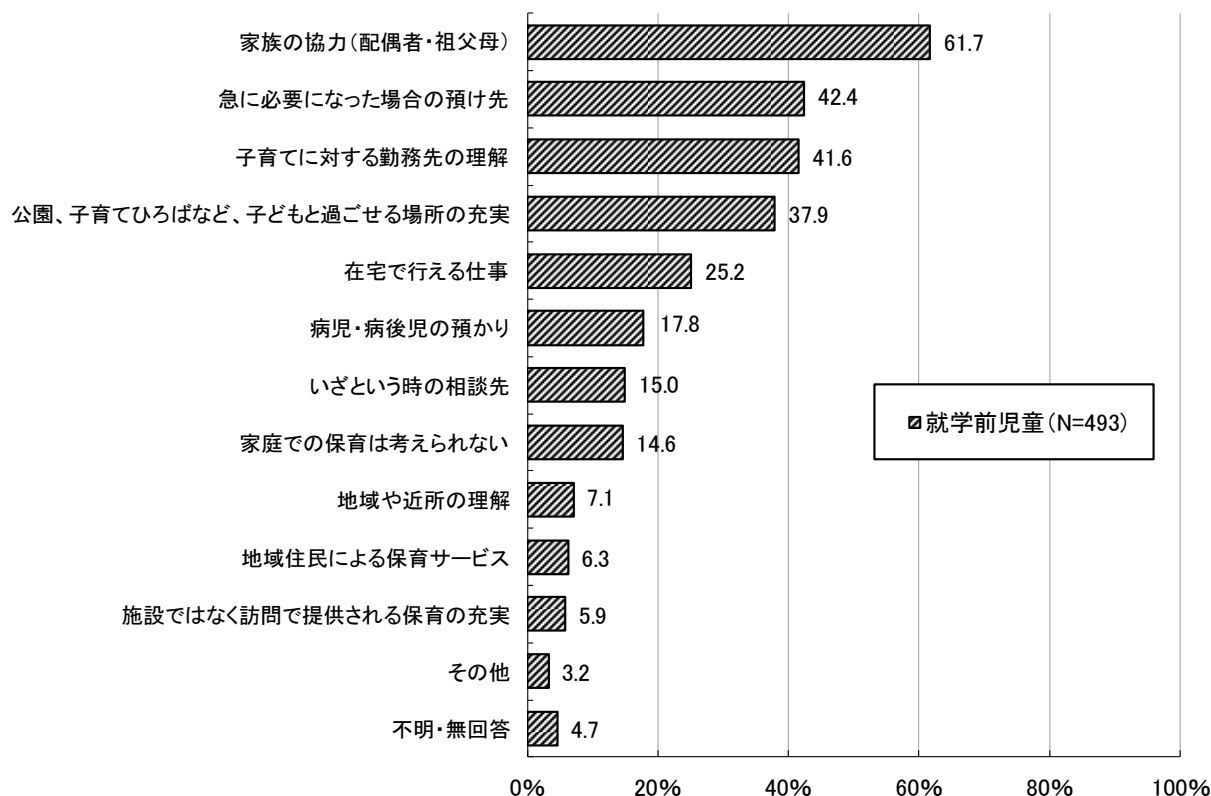


(8)

家庭での保育を継続する、または家庭での保育に切り替える条件として必要と思われることは何ですか。(すべてに○)

【就学前児童 問13】

- 「家族の協力(配偶者・祖父母)」が61.7%で最も高く、次いで「急に必要になった場合の預け先」が42.4%、「子育てに対する勤務先の理解」が41.6%、「公園、子育てひろばなど、子どもと過ごせる場所の充実」が37.9%が続いています。



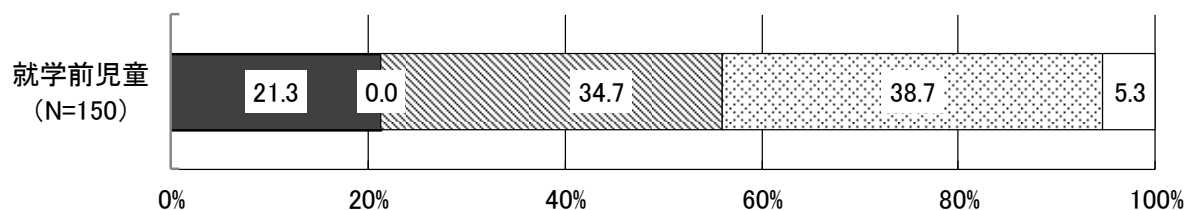
(9)

現在、幼稚園(部)を利用されている方に、恒常預かりについてうかがいます。

幼稚園での恒常預かり保育(通常の就園時間を延長して預かるサービス)利用していますか。また、今後も利用希望はありますか。(1つに○)

【就学前児童 問14】

- 「利用していない。今後も利用するつもりはない」が38.7%で最も高く、次いで「利用していないが、今後は利用したい」が34.7%、「利用している。今後は利用したい」が21.3%となっています。



■ 利用している。今後は利用したい。

▨ 利用していないが、今後は利用したい。

□ 不明・無回答

■ 利用しているが、今後は利用するつもりはない。

▨ 利用していない。今後は利用するつもりはない。

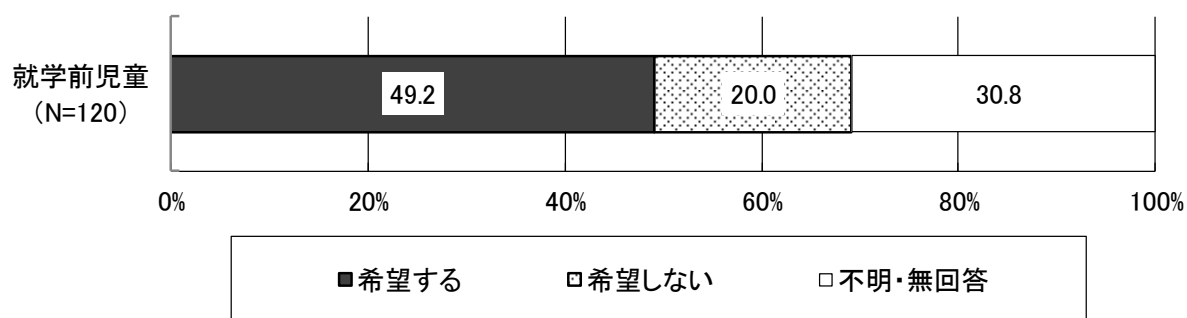
(10)

利用したいと考える施設・事業として、「幼稚園（部）」に○をつけ、かつ、他の施設・事業にも○をつけた方にうかがいます

問15 他の施設・事業よりも、幼稚園（幼稚園の恒常預かり保育や緊急預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つに○）

【就学前児童 問15】

●「希望する」が49.2%、「希望しない」が20.0%となっています。



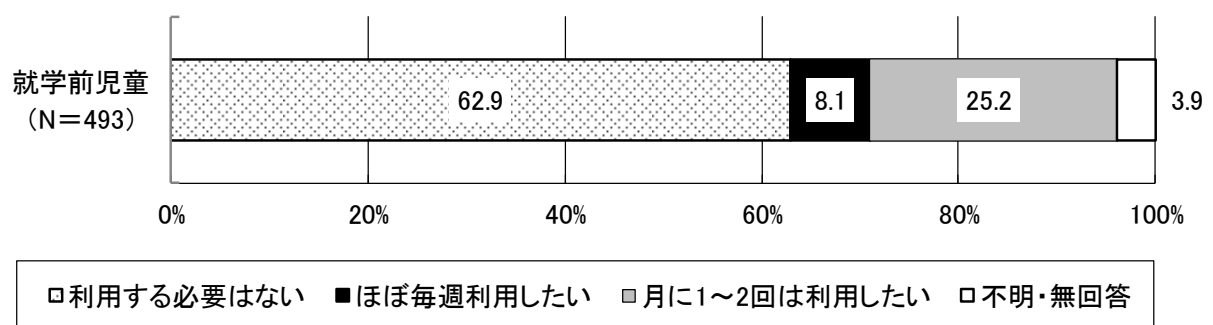
5. 就学前のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の幼稚園・保育園の利用希望について【就学前のみ】

(1)

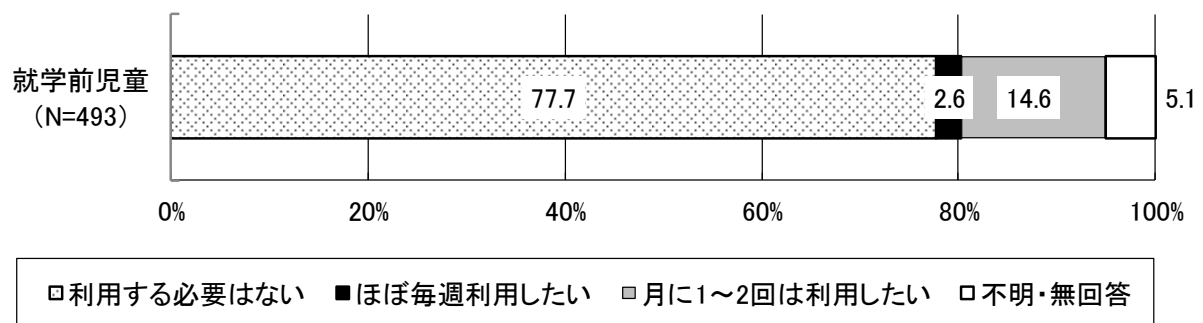
土日、日曜・祝日に、幼稚園や保育園などの利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）（それぞれ1つに○）
【就学前児童 問16】

- 土曜日は、「利用する必要はない」が62.9%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が25.2%、「ほぼ毎週利用したい」が8.1%と続いています。
- 日曜・祝日は、「利用する必要はない」が77.7%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が14.6%、「ほぼ毎週利用したい」が2.6%と続いています。

①土曜日



②日曜・祝日



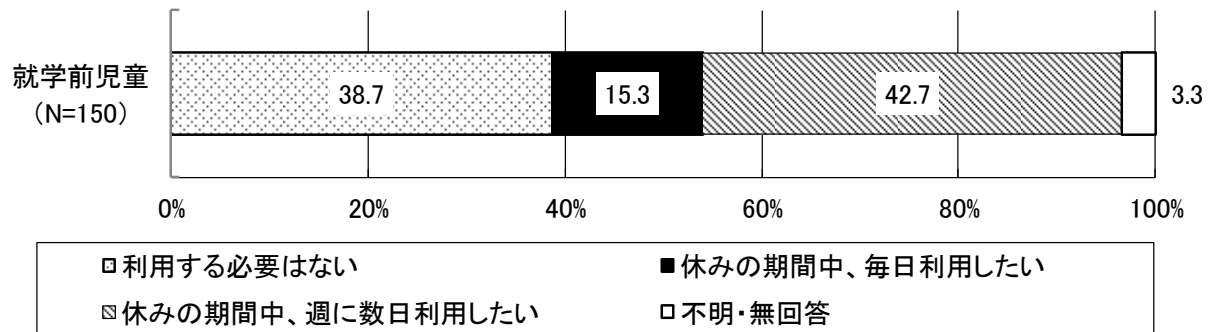
(2)

幼稚園（部）を利用されている方にうかがいます。

夏休み・冬休みなど長期休暇中に預かり保育などの保育サービスを利用したいですか（1つに○）

【就学前児童 問17】

- 「休みの期間中、週に数日利用したい」が42.7%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が38.7%、「休みの期間中、毎日利用したい」が15.3%となっています。



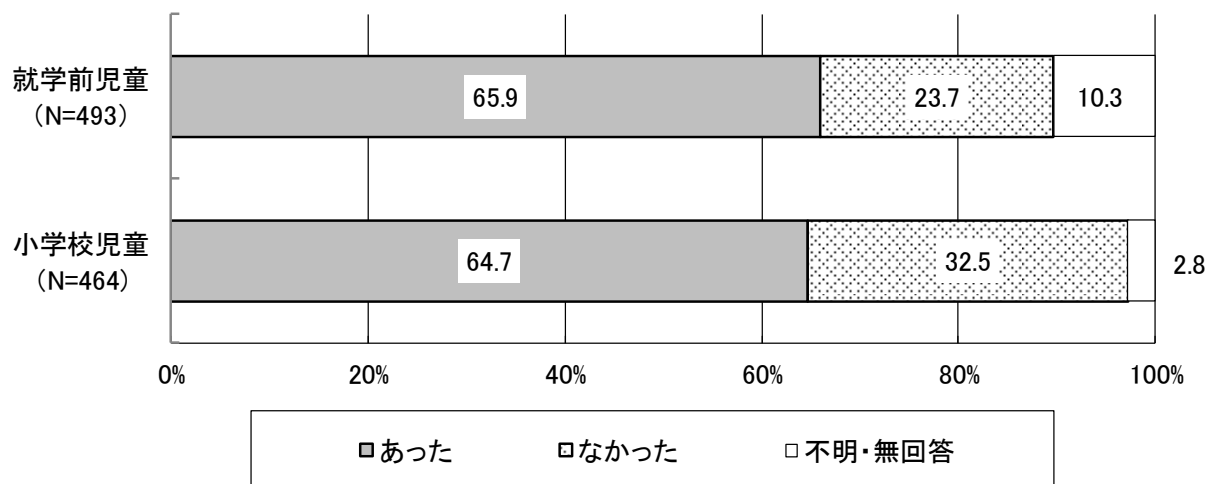
6. お子さんの病気の際の対応について

(1)

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで幼稚園や保育園などへ行けなかったことはありますか。(1つに○)

【就学前児童 問18】【小学校児童 問6】

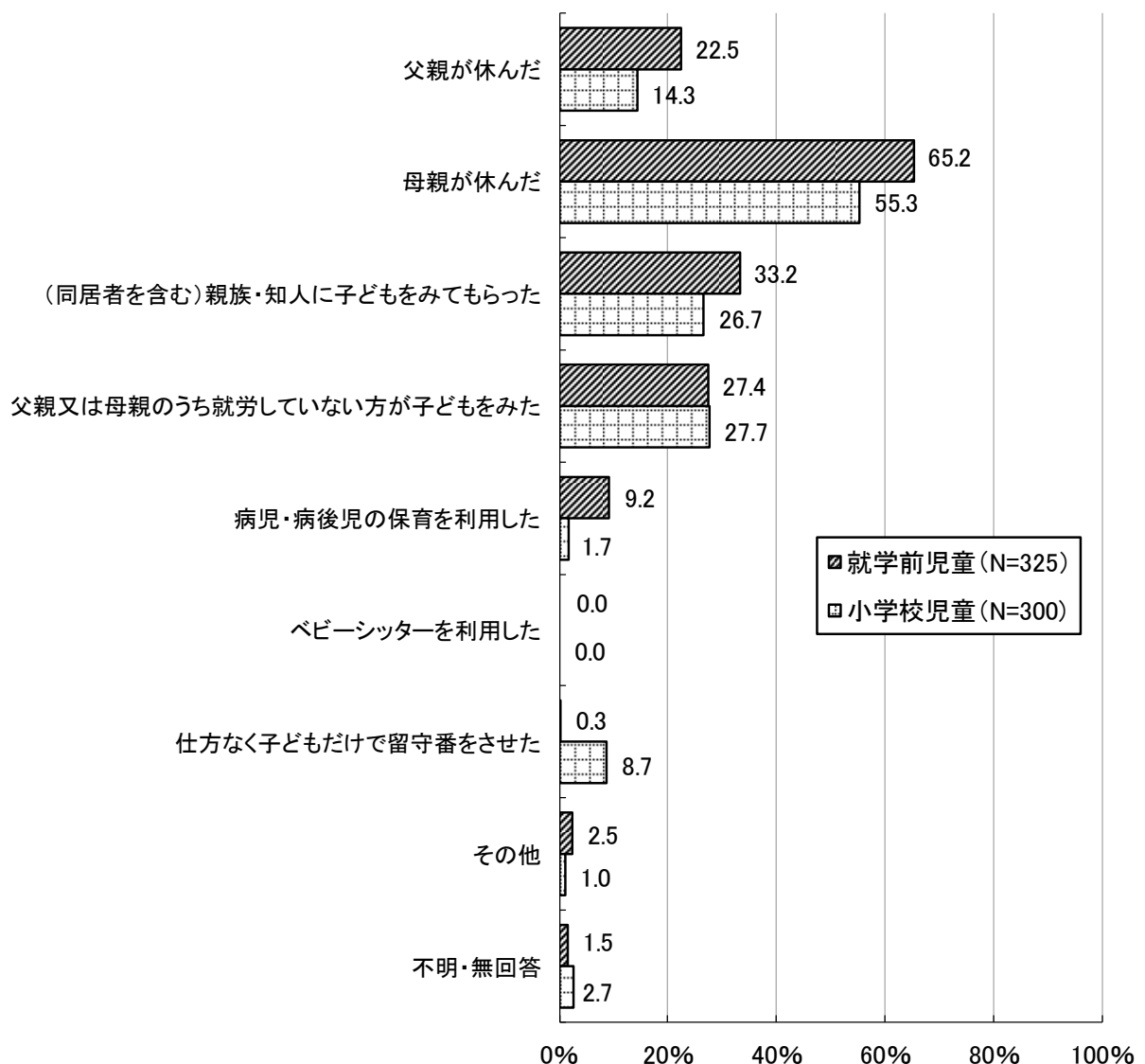
- 就学前児童では、「あった」が65.9%、「なかった」が23.7%となっています。
- 小学校児童では、「あった」が64.7%、「なかった」が32.5%となっています。



(1) で「あった」に○をつけた方にうかがいます。

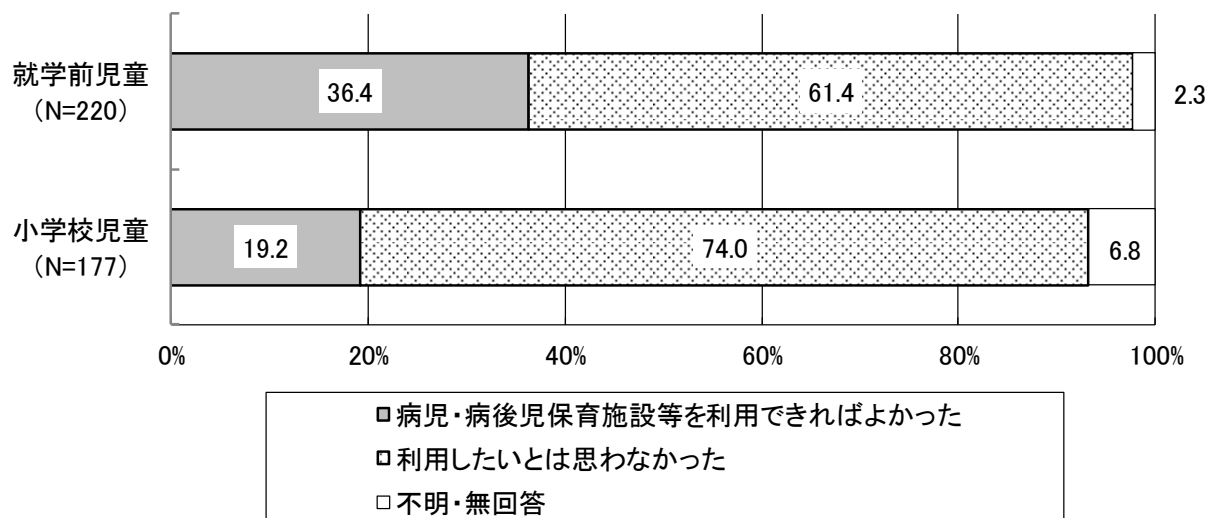
(2) この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育サービスが利用できなかった場合に、行った対処方法はどれですか。(すべてに○)
【就学前児童 問18-1】【小学校児童 問6-1】

- 就学前児童では、「母親が休んだ」が65.2%が最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が33.2%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が27.4%で続いています。
- 小学校児童では、「母親が休んだ」が55.3%、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が27.7%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が26.7%で続いています。



(3)	(2)で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」に○をつけた方にうかがいます。 問18-2 休んだ日数のうち、何日くらい「病児・病後児のための保育施設等を利用できればよかった」と思った日がありましたか。(1つに○) 【就学前児童 問18-2】【小学校児童 問6-2】
-----	---

- 就学前児童では、「利用したいとは思わなかった」が61.4%が最も高く、次いで「病児・病後児保育施設等を利用できればよかった」が36.4%となっています。
- 小学校児童では、「利用したいとは思わなかった」が74.0%、次いで「病児・病後児保育施設等を利用できればよかった」が19.2%となっています。



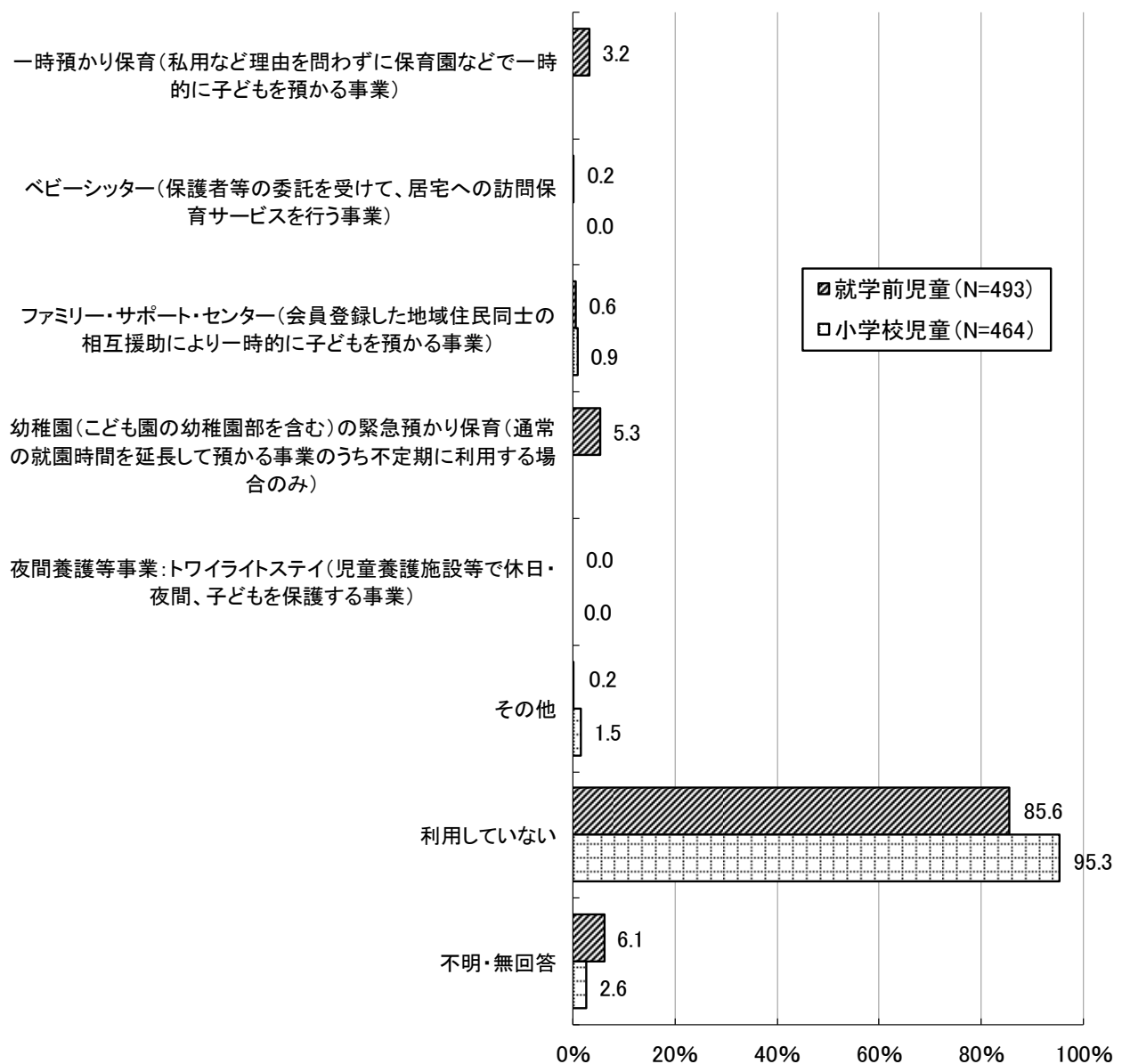
7. 幼稚園・保育園などの不定期の利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1)

あて名のお子さんについて、この1年間で私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(すべてに○)

【就学前児童 問19】【小学校児童 問7】

- 就学前児童では、「利用していない」が85.6%、次いで「幼稚園(こども園の幼稚園部を含む)の緊急預かり保育」が5.3%、「一時預かり保育」が3.2%が続いています。
- 小学校児童では、「利用していない」が95.3%、次いで「ファミリー・サポート・センター」が0.9%となっています。

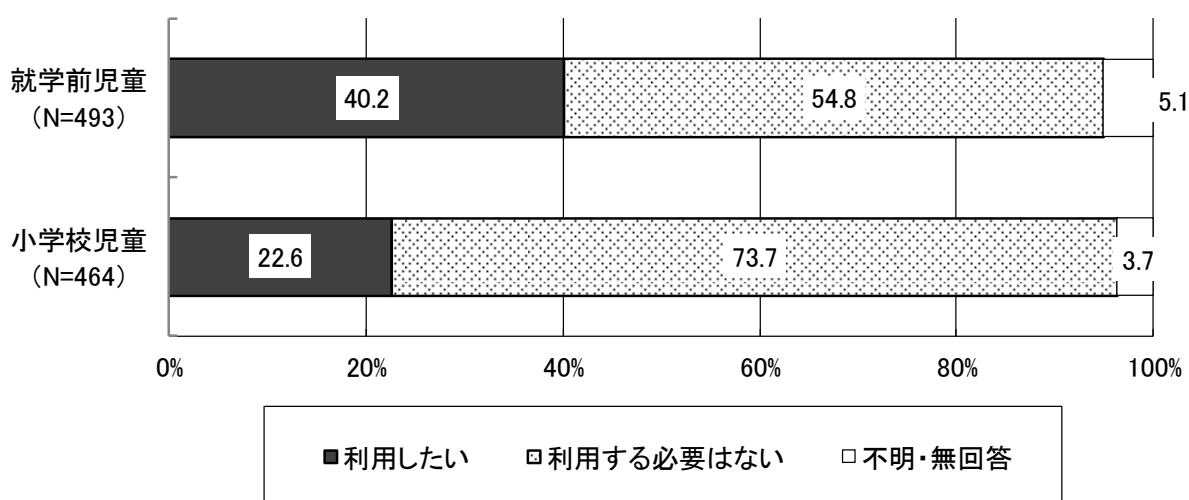


(2)

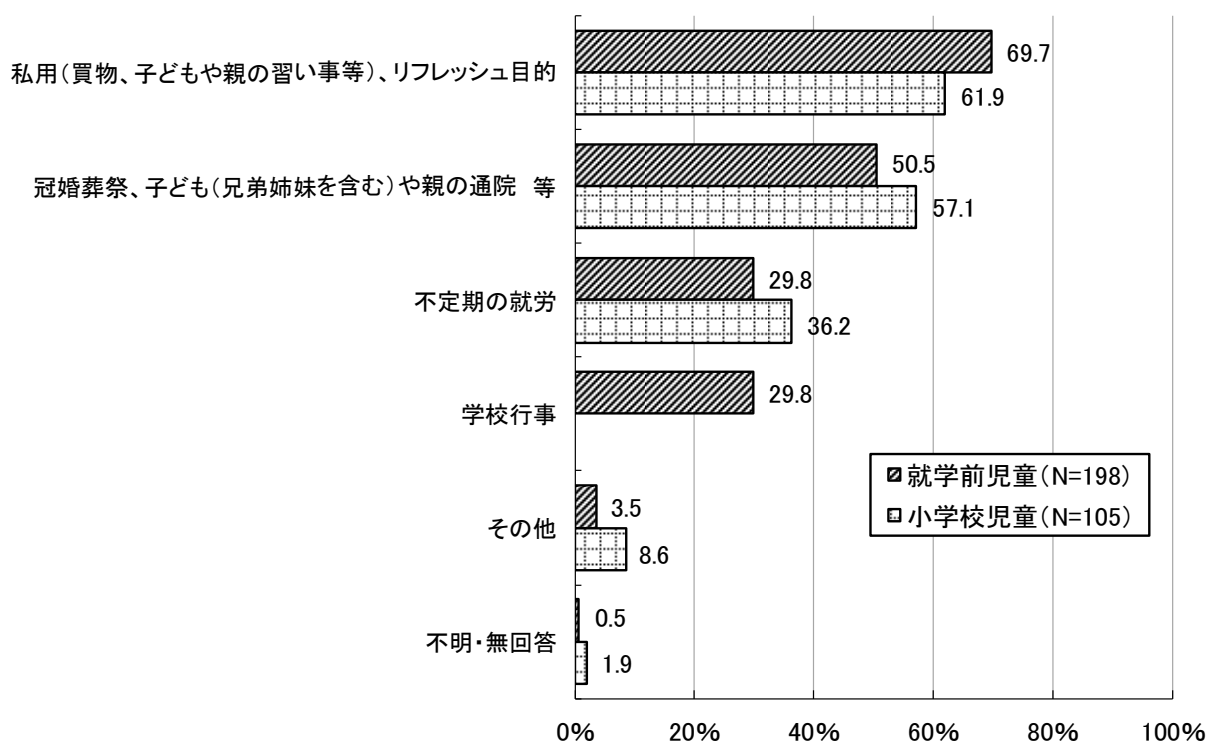
あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり保育等を利用したいですか。(1つに○)

【就学前児童 問20】【小学校児童 問8】

- 一時預かり保育の利用希望は、就学前児童では、「利用する必要はない」が54.8%、「利用したい」が40.2%となっています。
- 小学校児童では、「利用する必要はない」が73.7%、「利用したい」が22.6%となっています。
- 利用目的については、就学前児童は「私用(買物、子どもや親の習い事等)、リフレッシュ目的」が69.7%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」が50.5%で続いています。
- 小学校児童は「私用(買物、子どもや親の習い事等)、リフレッシュ目的」が61.9%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」が57.1%で続いています。



《一時保育の利用目的(すべてに○)》

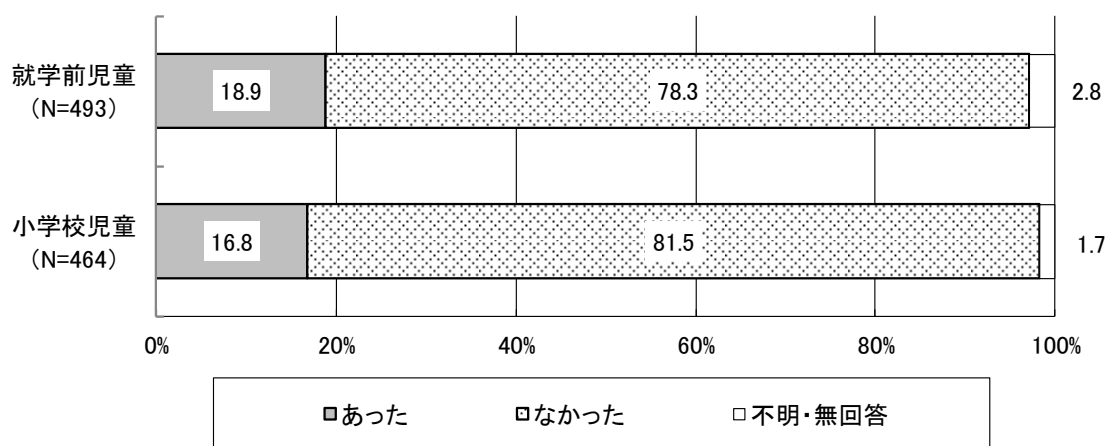


(3)

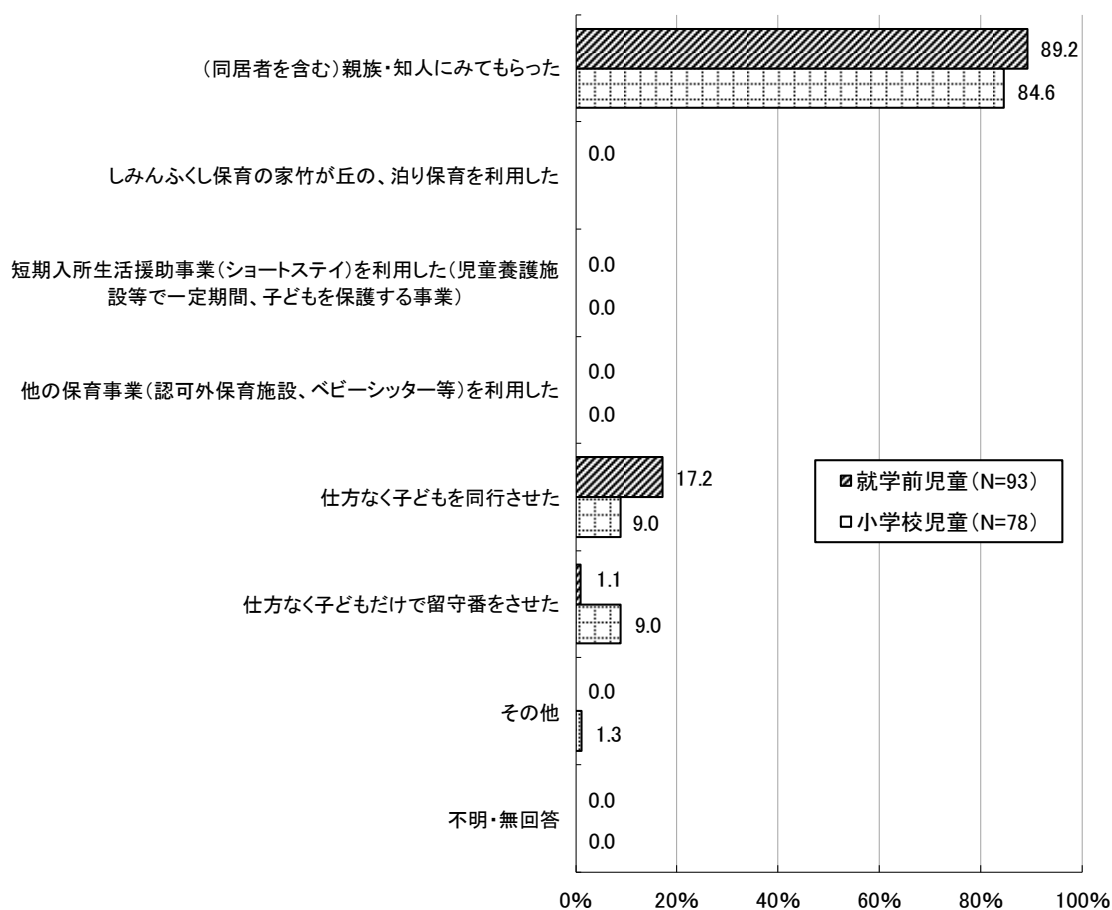
問21 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。(1つに○)

【就学前児童 問21】【小学校児童 問9】

- 就学前児童では、「なかった」が78.3%、「あった」が18.9%となっています。
- 小学校児童では、「なかった」が81.5%、「あった」が16.8%となっています。
- 対処方法については、就学前児童は「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が89.2%で最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が17.2%で続いています。
- 小学校児童は「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が84.6%で最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」と「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」がともに9.0%で続いています



《この1年間の対処方法(すべてに○)》



8. お子さんの放課後の過ごし方について※

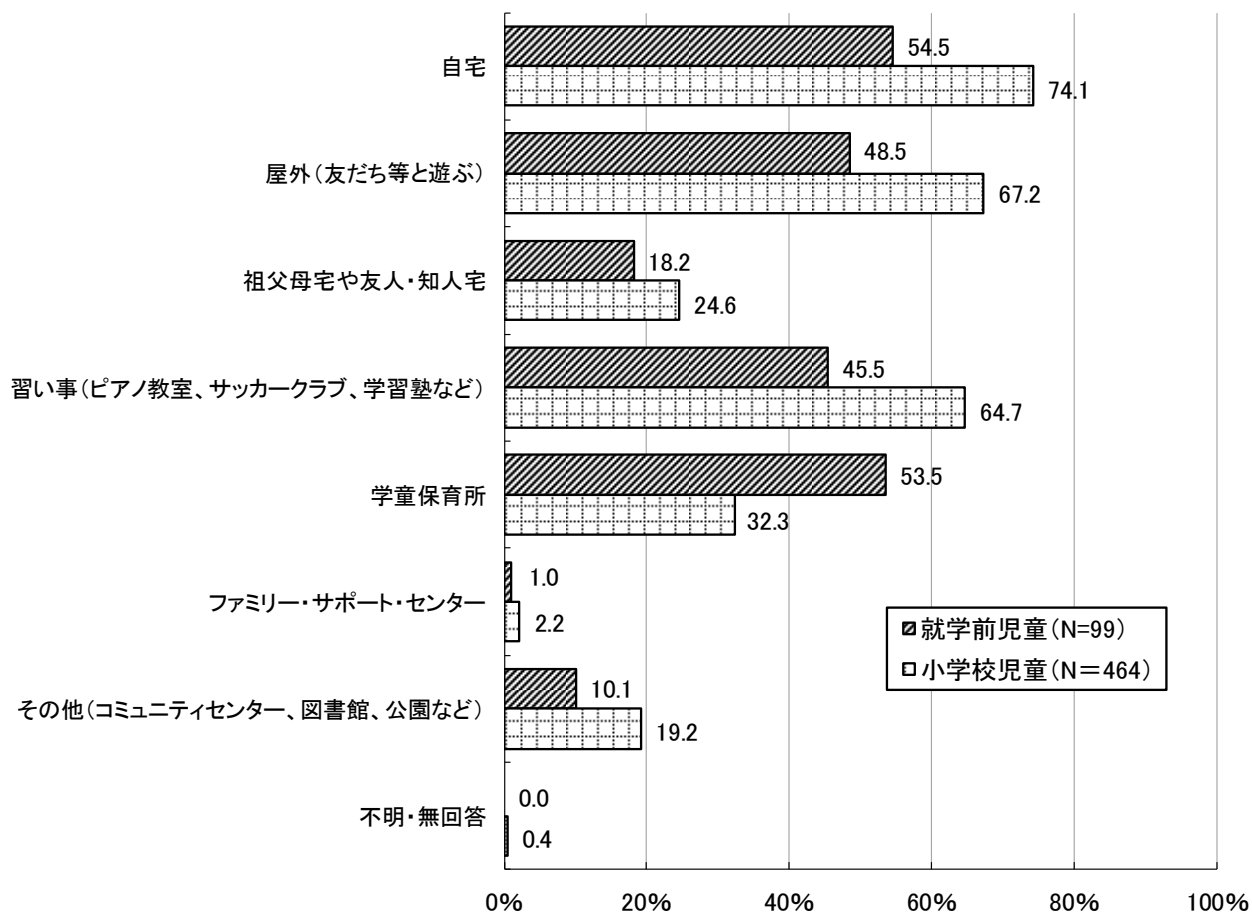
※就学前児童は2019年4月に小学校に入学する児童（5歳児）の保護者を対象。

(1)

お子さんについて今後、放課後（平日の小学校終了後）をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（すべてに○）

【就学前児童 問22】 【問10】

- 就学前児童では、「自宅」が54.5%で最も高く、次いで「学童保育所」が53.5%、「屋外（友だち等と遊ぶ）」が48.5%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が45.5%で続いています。
- 小学校児童では、「自宅」が74.1%で最も高く、次いで「屋外（友だち等と遊ぶ）」が48.5%が67.2%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が64.7%、「学童保育所」が32.3%で続いています。



(1) で「学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。

(2)

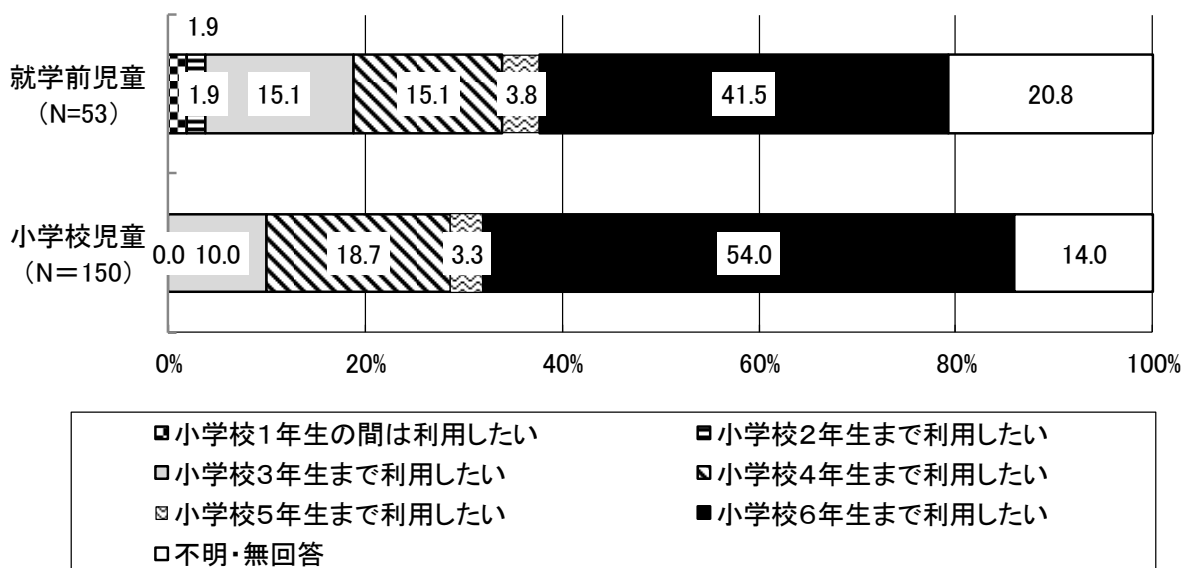
学童保育所の利用希望をうかがいます。(○は1つ)

【就学前児童 問23】 【小学校児童 問11】

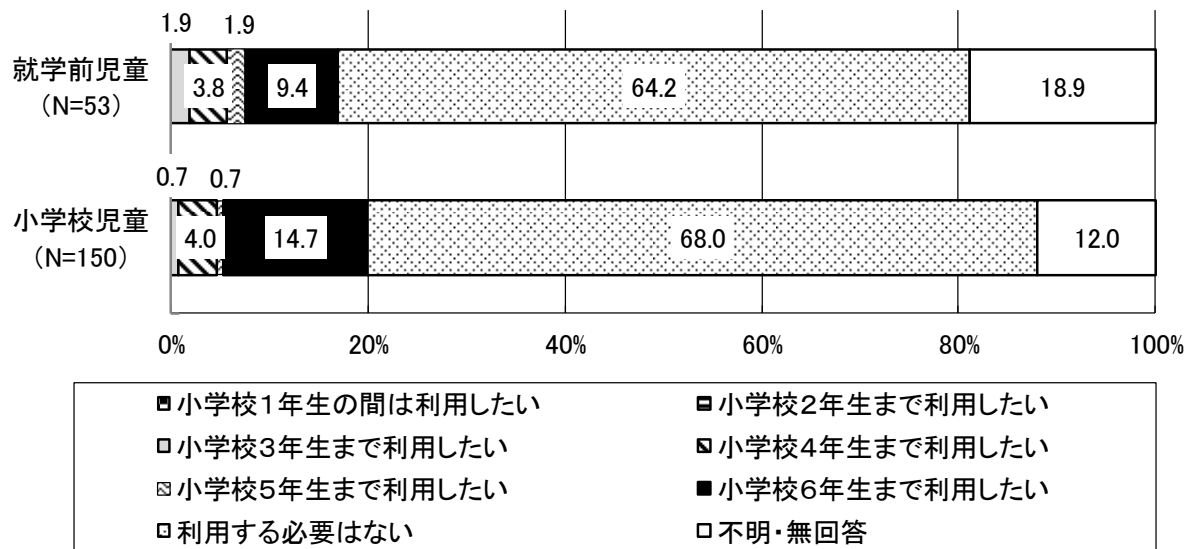
- 通年保育(月曜～土曜日)については、就学前児童は、「小学6年生まで利用したい」が41.5%で最も高く、次いで「小学3年生まで利用したい」と「小学4年生まで利用したい」がともに15.1%で続いています。小学校児童では、「小学6年生まで」が54.0%と最も高く、次いで「小学4年生まで利用したい」が18.7%で続いています。
- 通年保育(日曜・祝日)については、就学前児童、小学校児童ともに「利用する必要はない」が最も高く、6割を超えています。
- 季節保育については、就学前児童では、「小学6年生まで利用したい」が26.4%で最も高く、次いで「小学4年生まで利用したい」と「利用する必要はない」がともに11.3%で続いています。小学校児童では、「小学6年生まで利用したい」が44.7%で最も高く、次いで「利用する必要はない」が9.3%で続いています。

《ア. 通年保育》

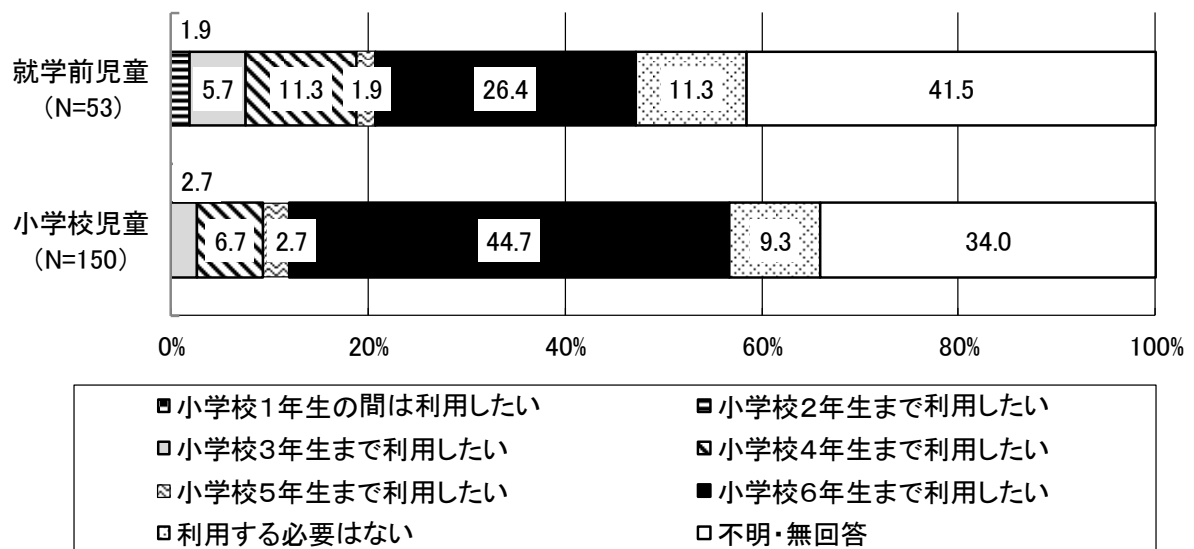
① 月曜～土曜日の利用について



② 日曜・祝日の利用について



《イ. 季節保育》

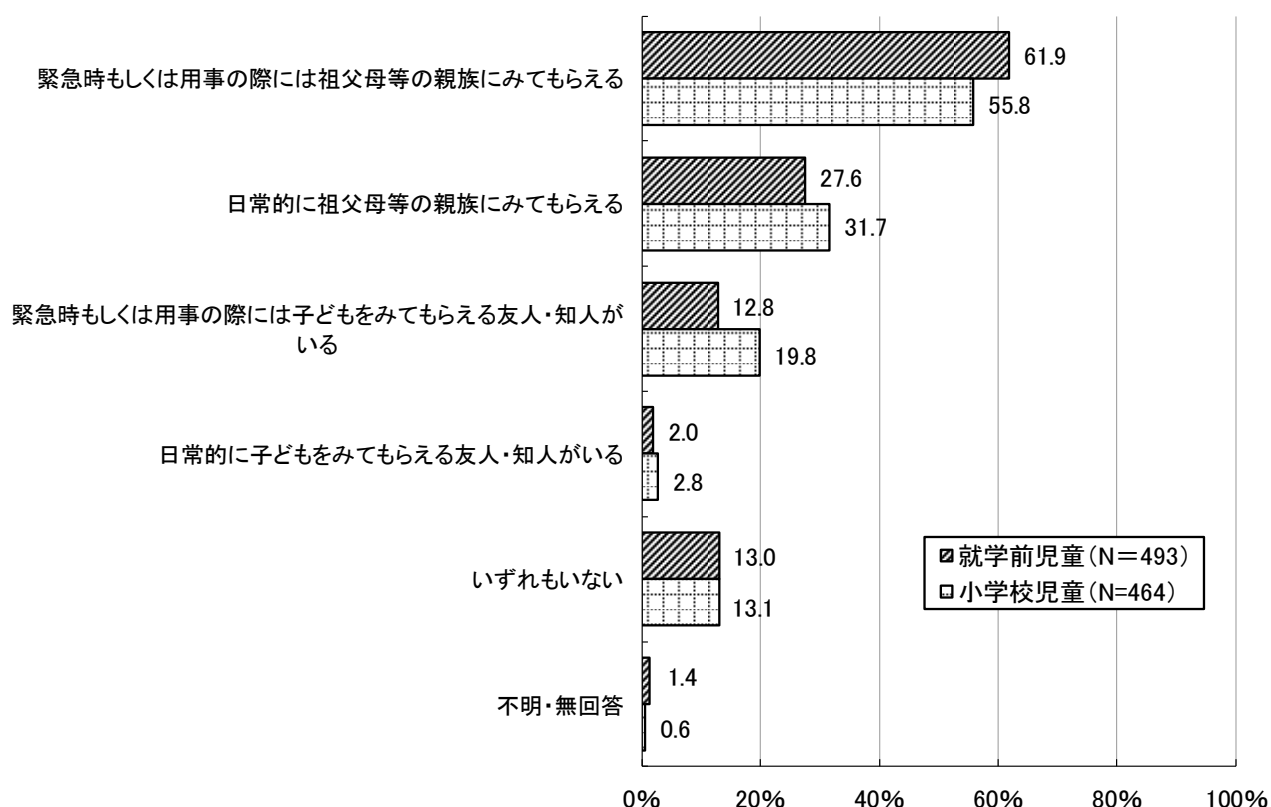


9. 子育て環境について

(1)

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(すべてに○)
【就学前児童 問24】【低学年 問12】

- 就学前児童では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.9%と最も高く、「いずれもない」は13.0%となっています。
- 小学校児童では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.8%と最も高く、「いずれもない」は13.1%となっています。

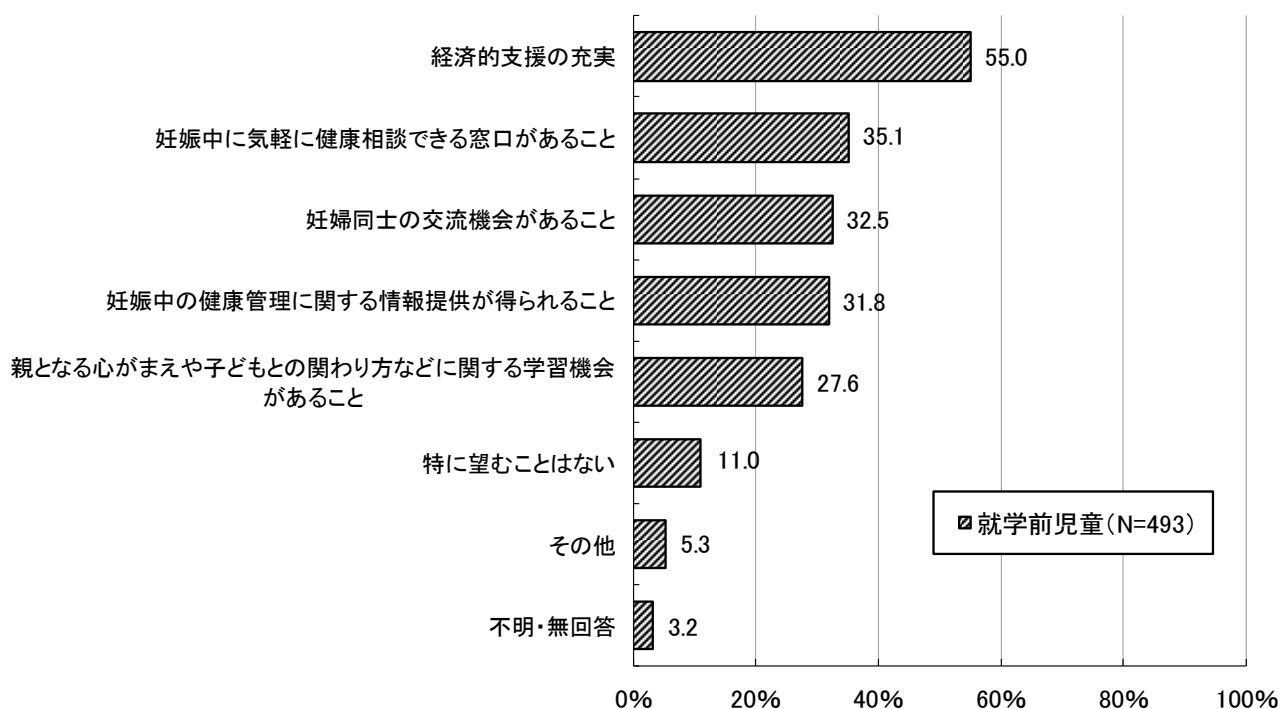


(2)

妊娠期から出産期に対しての支援として、どのようなことを望みますか。(すべてに○)

【就学前児童 問25】

- 望む支援として、「経済的支援の充実」が55.0%で最も高く、次いで「妊娠中に気軽に健康相談できる窓口があること」が35.1%、「妊婦同士の交流機会があること」が35.1%、「妊娠中の健康管理に関する情報提供が得られること」が31.8%で続いています。

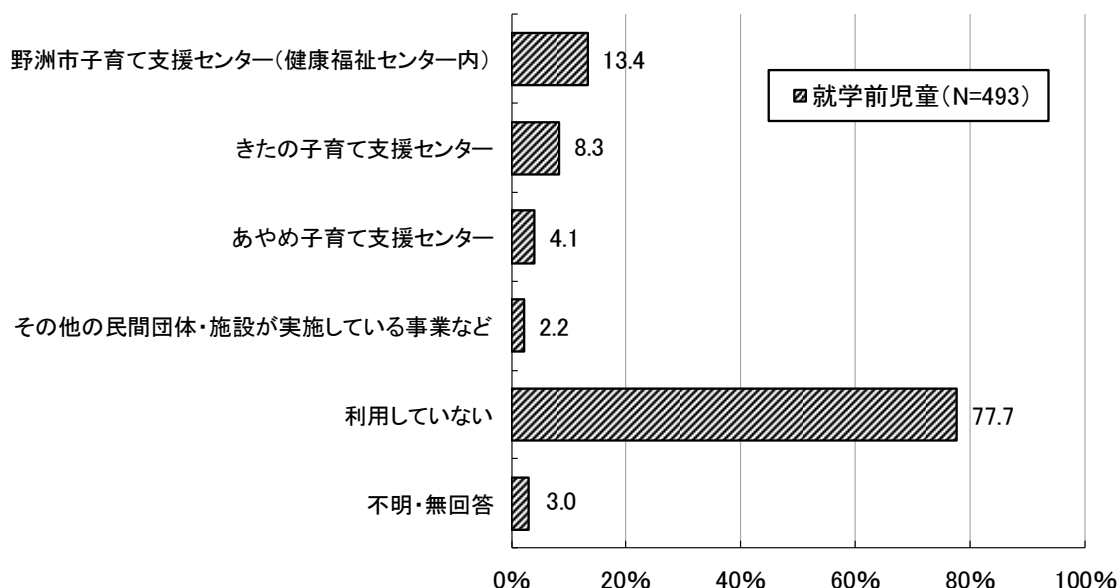


(3)

あて名のお子さんの現在の子育て支援センターの利用状況について、以下の選択肢に○をつけてください。(すべてに○)

【就学前児童 問26】

- 「利用していない」が77.7%で最も高く、次いで「野洲市子育て支援センター（健康福祉センター内）」が13.4%、「きたの子育て支援センター」が8.3%、「あやめ子育て支援センター」が4.1%で続いています。

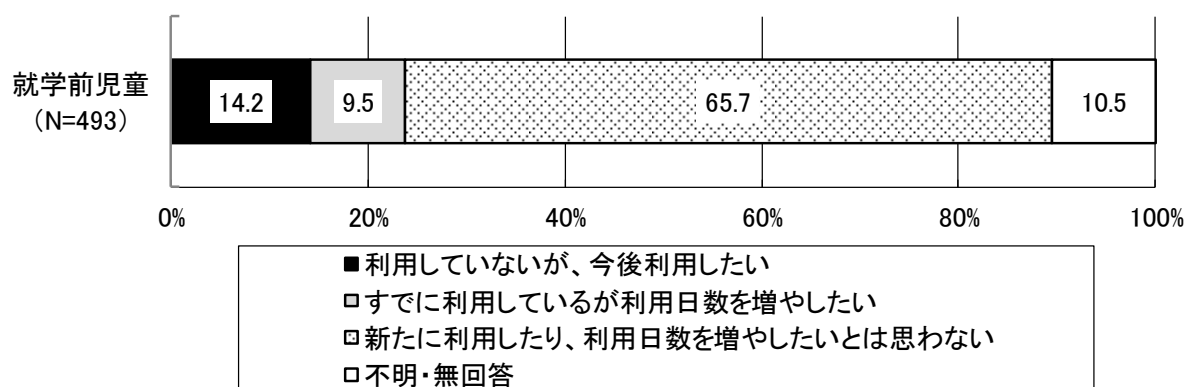


(4)

(3) のような子育て支援センターを、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(1つに○)

【就学前児童 問27】

- 「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が65.7%で最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が14.2%、「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」が9.5%が続いています。



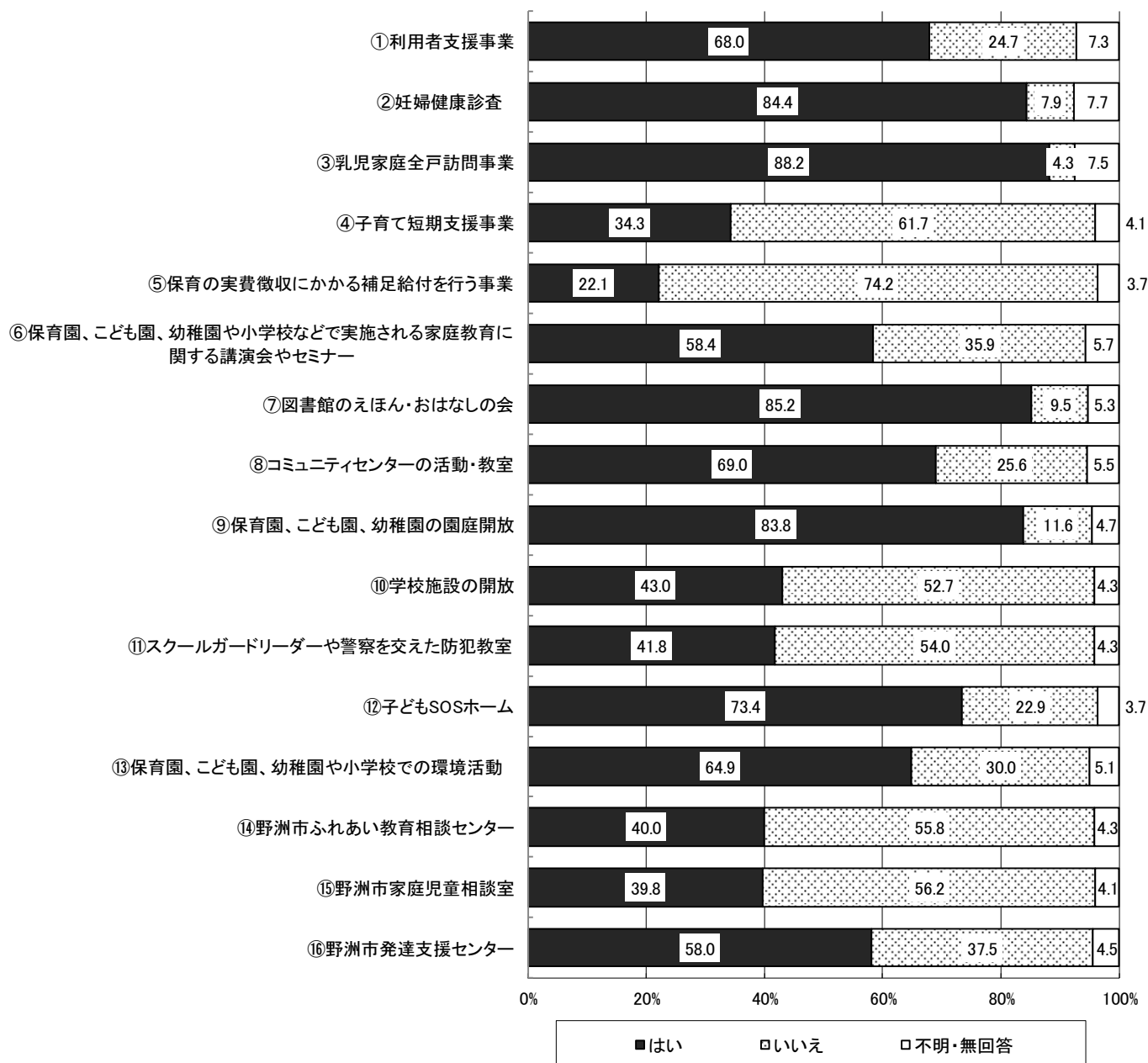
(5)

下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後（今後も）利用したいと思うものをお答えください。（それぞれに○は1つずつ）

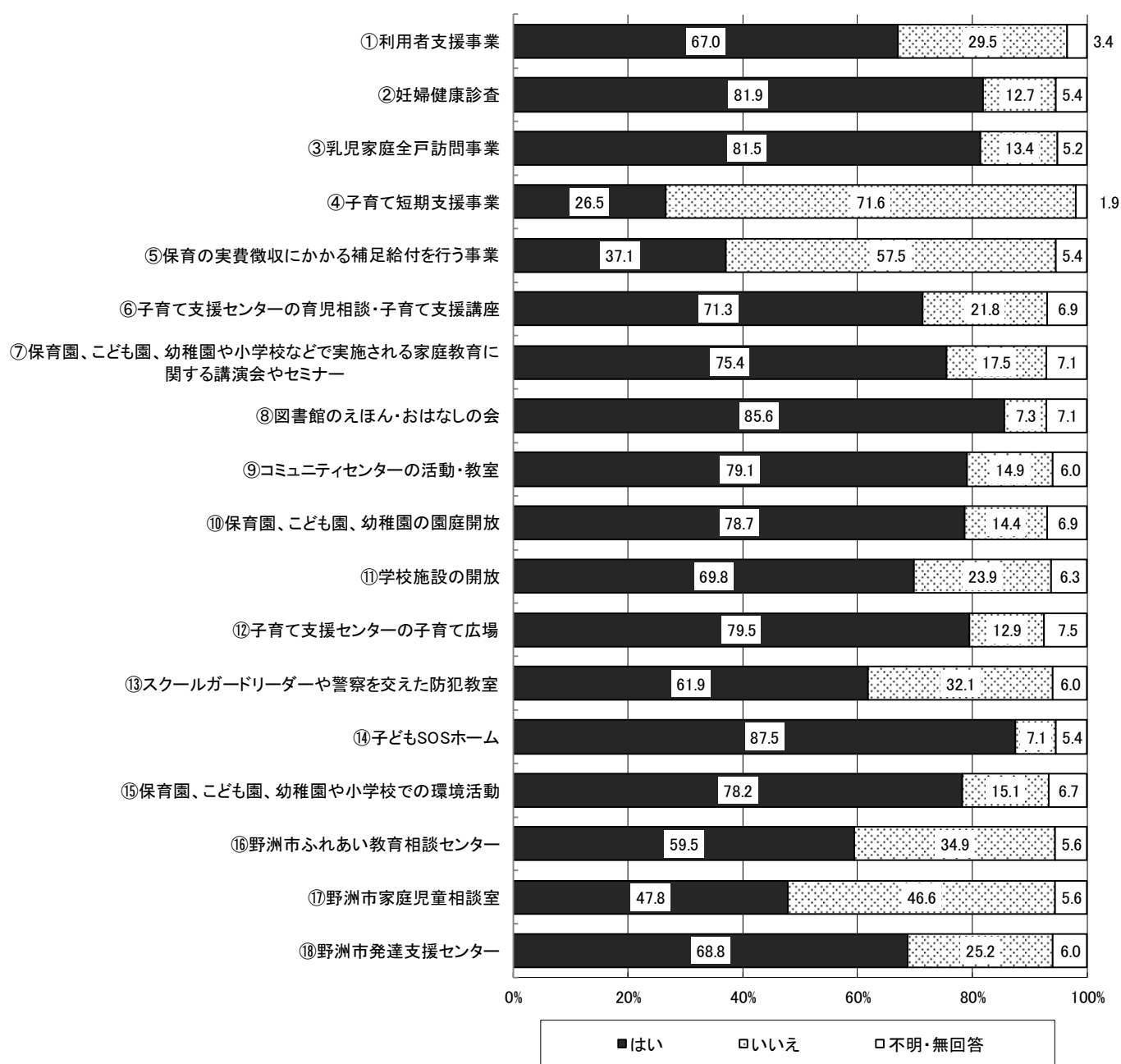
【就学前児童 問28】【小学校児童 問13】

- 知っているものは、就学前児童では、「乳児家庭全戸訪問事業」が88.2%で最も高く、次いで「図書館のえほん・おはなしの会」が85.2%、「妊婦健康診査」が84.4%、「保育園、こども園、幼稚園の園庭開放」が83.8%と続いています。
- 小学校児童では、「子どもSOSホーム」が87.5%で最も高く、次いで「図書館のえほん・おはなしの会」が85.6%、「妊婦健康診査」が81.9%、「乳児家庭全戸訪問事業」が81.5%と続いています。

①知っているもの【就学前児童（N=493）】

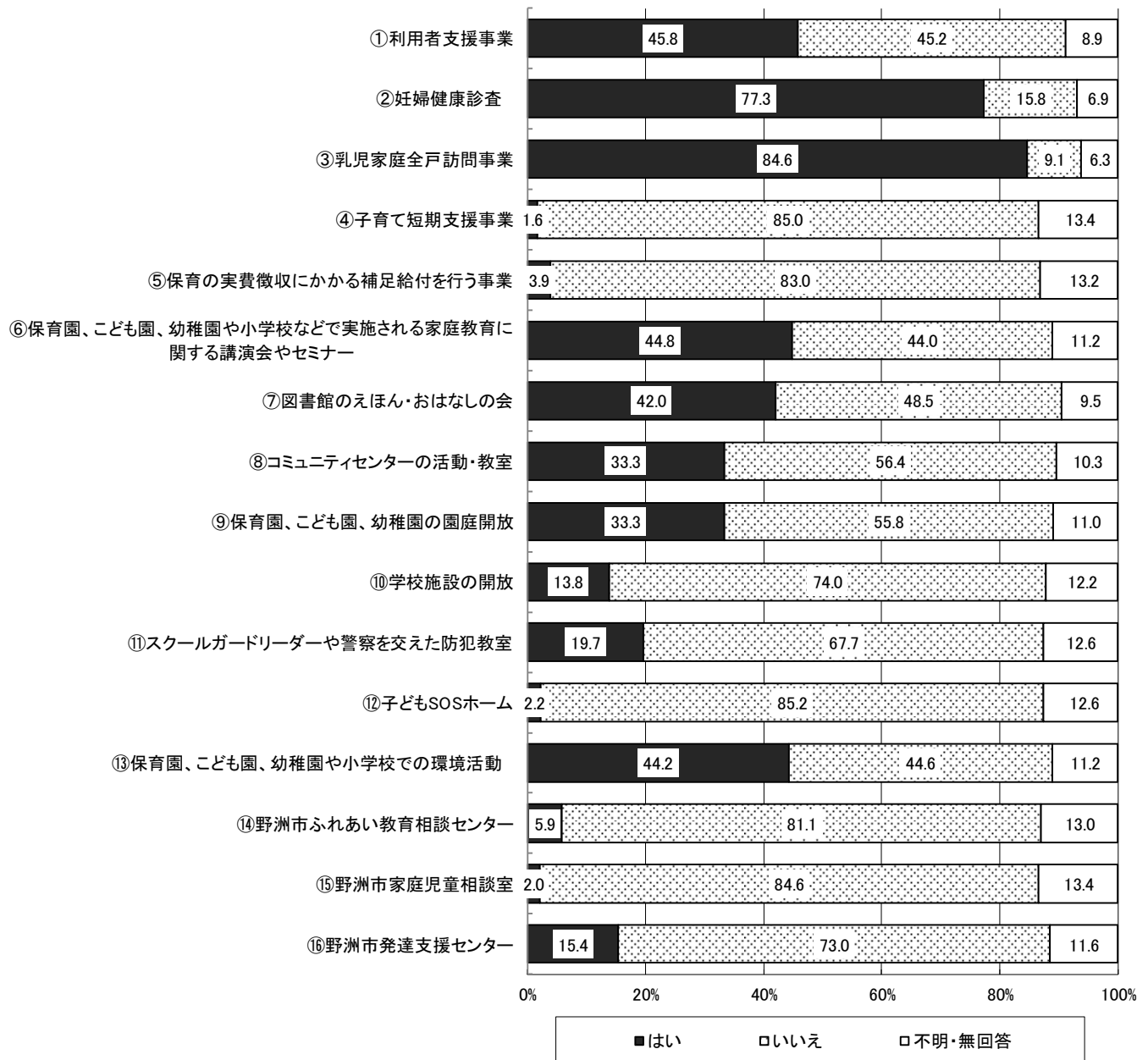


①知っているもの【小学校児童（N=464）】

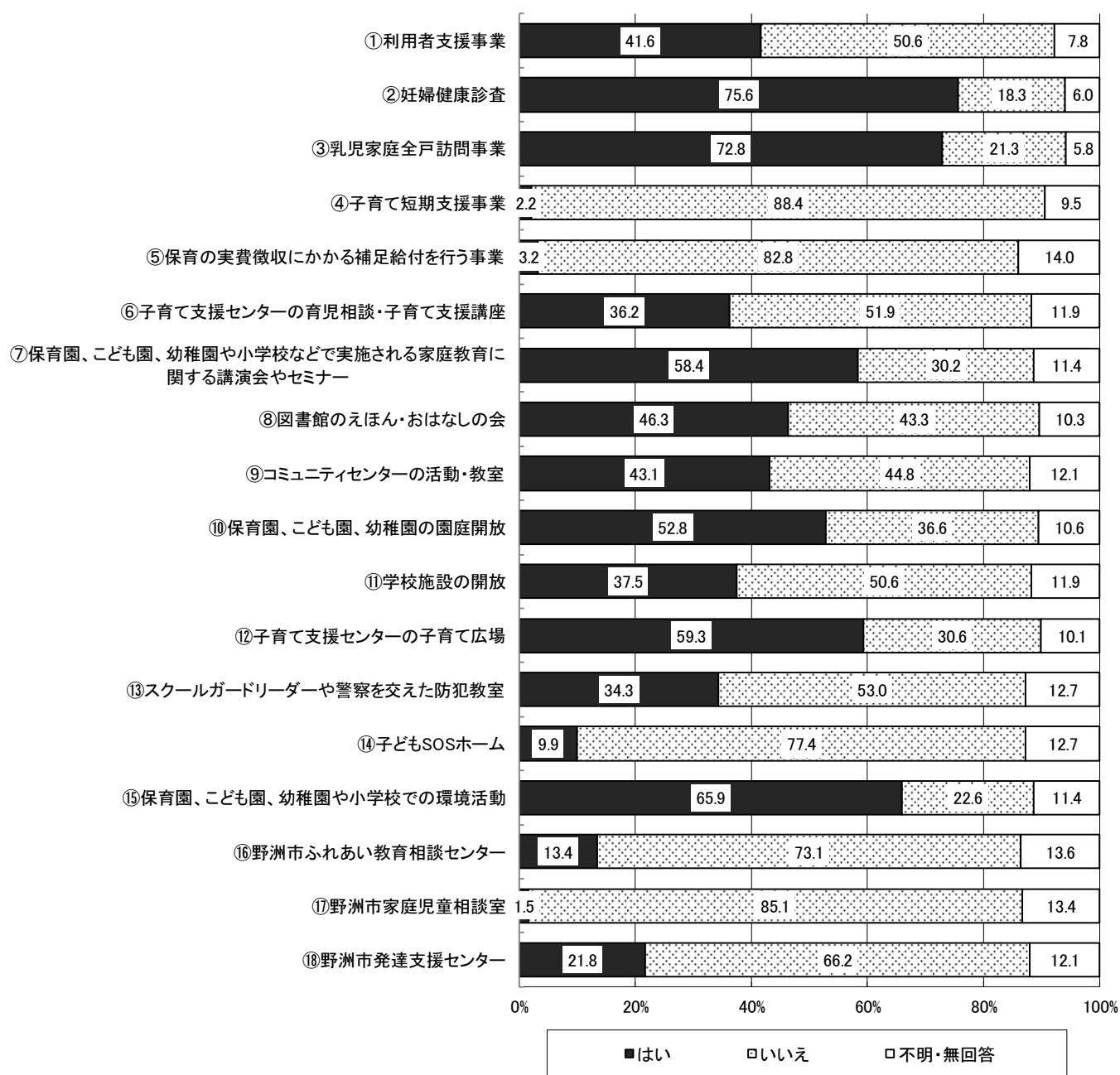


- 利用（参加）したことがあるものは、就学前児童では、「乳児家庭全戸訪問事業」が84.6%と最も高く、次いで「妊婦健康診査」が77.3%、「利用者支援事業」が45.8%と続いています。
- 小学校児童では、「妊婦健康診査」が75.6%で最も高く、次いで「乳児家庭全戸訪問事業」が72.8%、「保育園、こども園、幼稚園や小学校での環境活動」が65.9%と続いています。

②利用（参加）したことがあるもの【就学前児童（N=493）】

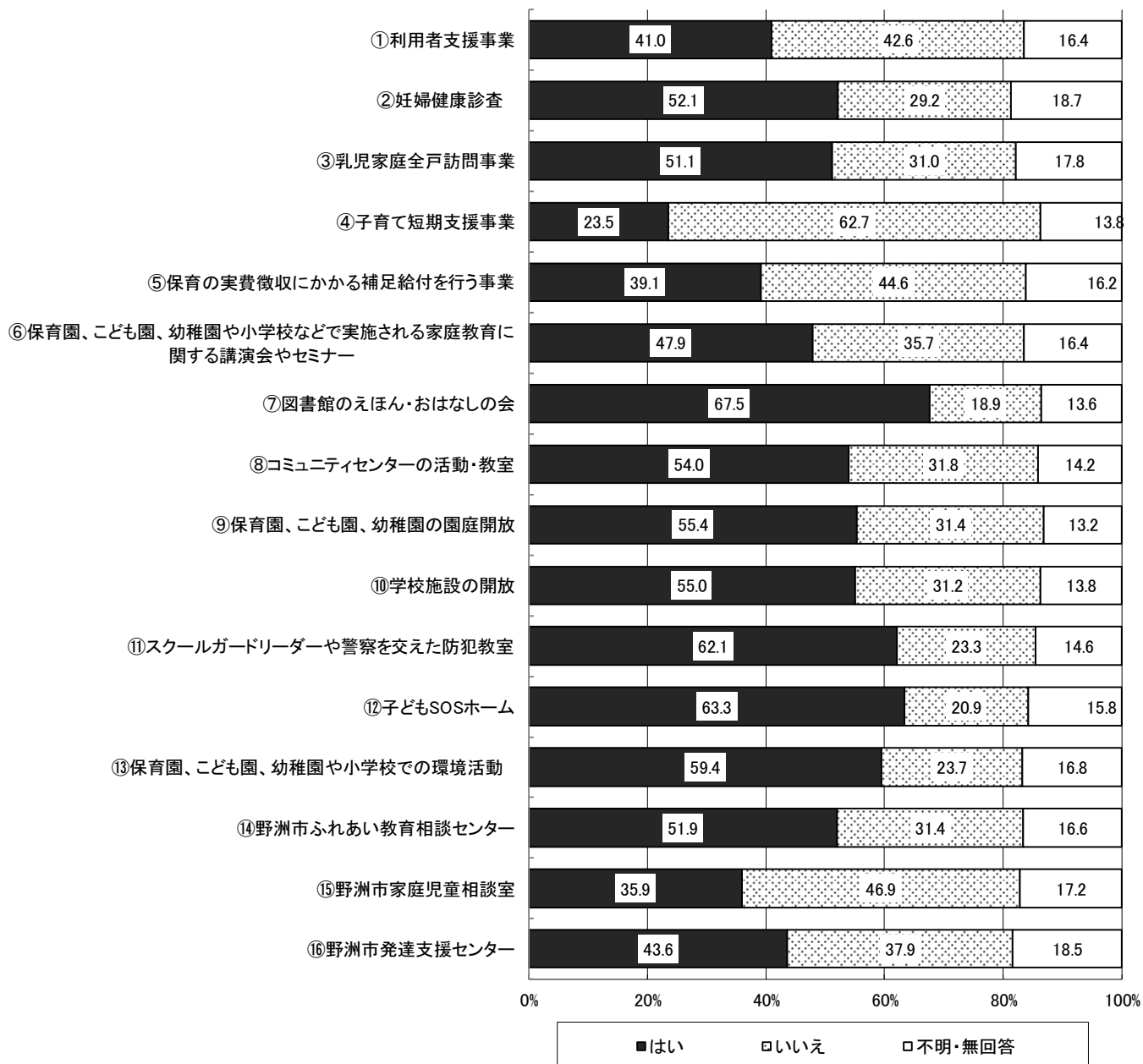


②利用（参加）したことがあるもの【小学校児童（N=464）】

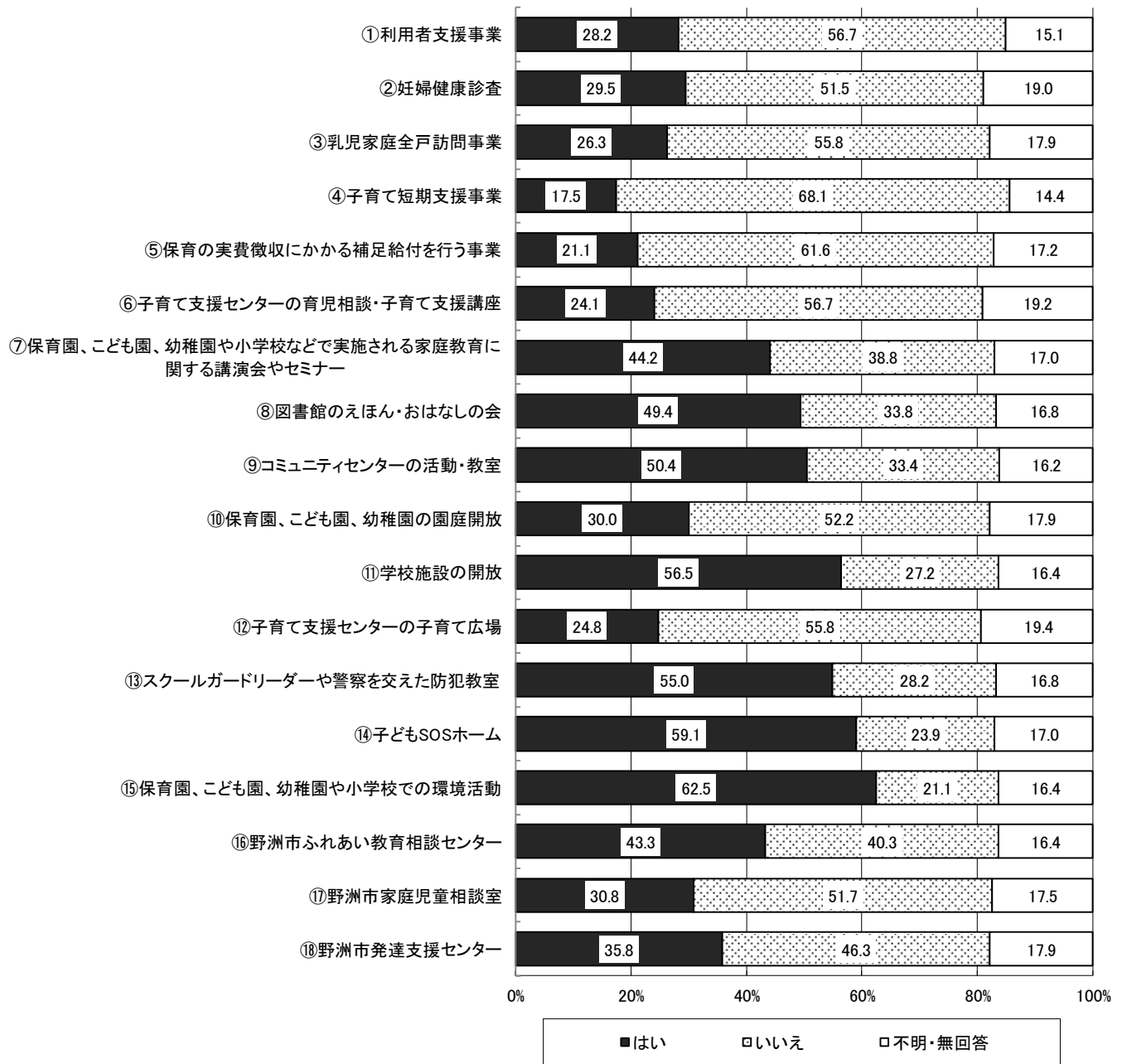


- 今後利用（参加）したいと思うものは、就学前児童では、「図書館のえほん・おはなしの会」が67.5%で最も高く、次いで「子どもSOSホーム」が63.3%、「スクールガードリーダーや警察を交えた防犯教室」が62.1%と続いています。
- 小学校児童では、「保育園、こども園、幼稚園や小学校での環境活動」が62.5%で最も高く、次いで「子どもSOSホーム」が59.1%、「学校施設の開放」が56.5%、「スクールガードリーダーや警察を交えた防犯教室」が55.0%と続いています。

、③今後利用（参加）したい【就学前児童（N=493）】



③ 今後利用（参加）したい【小学校児童（N=464）】



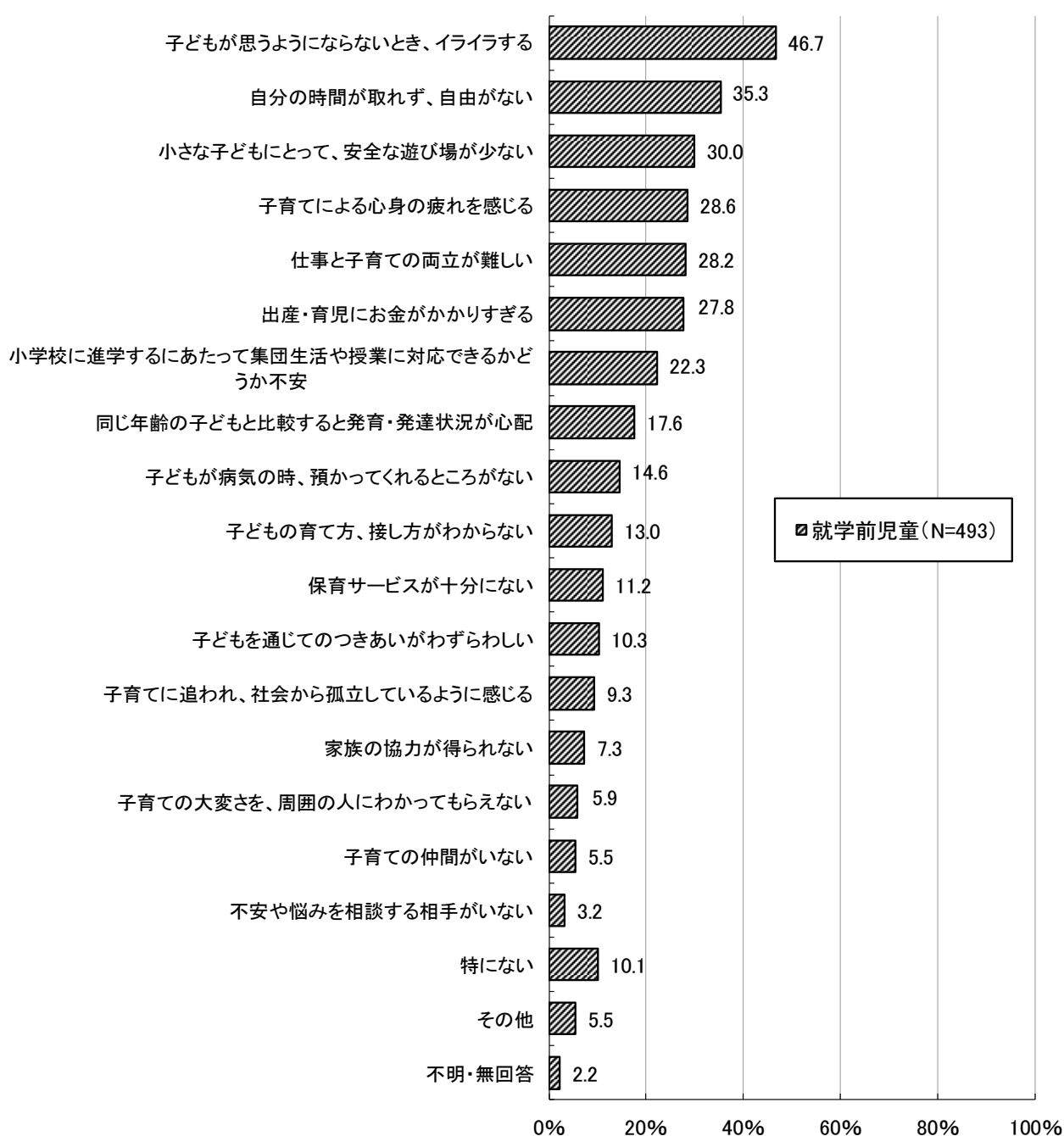
(6)

子育てに関して、日頃悩んでいること、また不安や負担、気になることはどのようなことですか。(すべてに○)

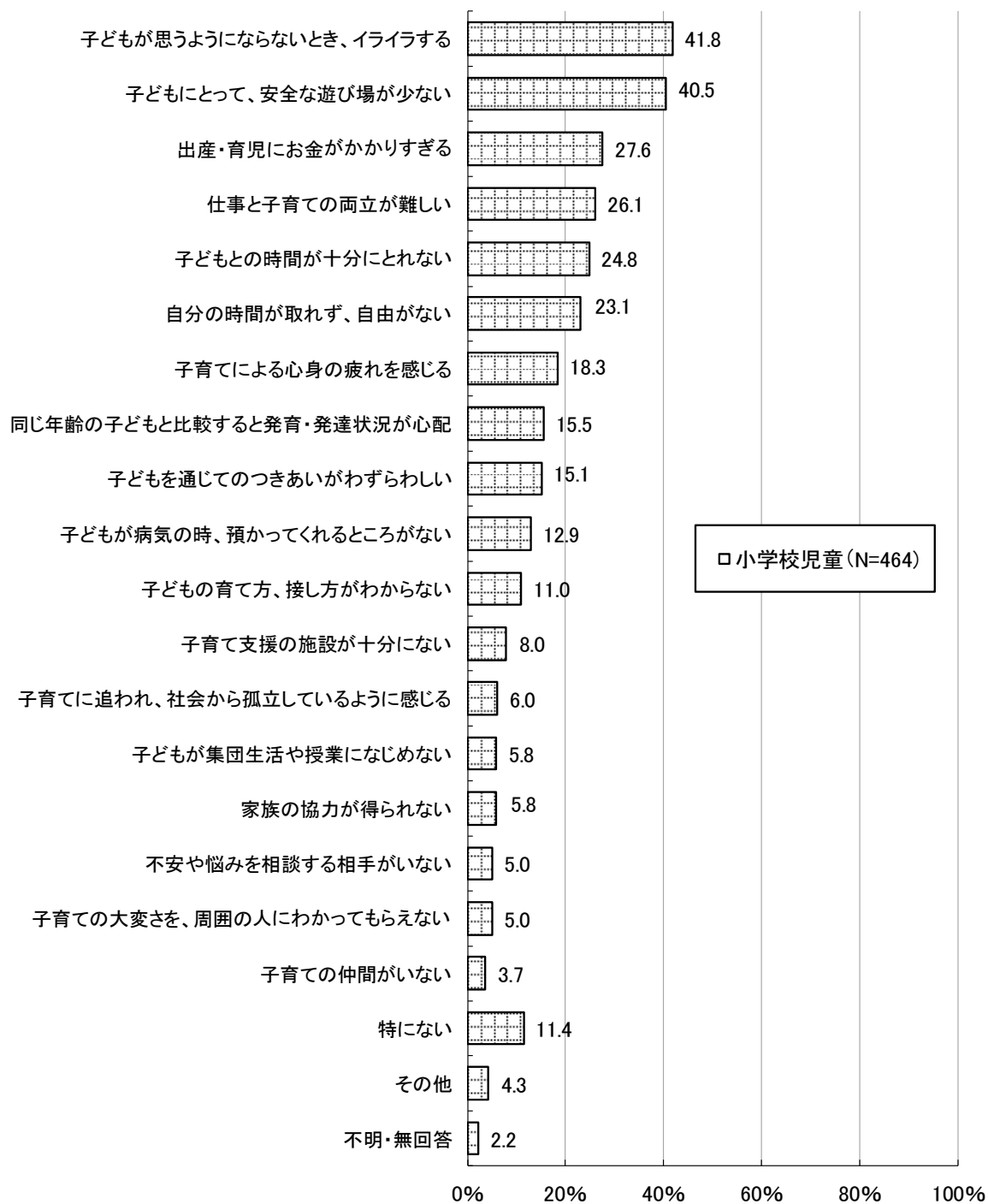
【就学前児童 問29】 【小学校児童 問14】

- 就学前児童では、「子どもが思うようにならないとき、イライラする」が46.7%で最も高く、次いで「自分の時間が取れず、自由がない」が35.3%、「小さな子どもにとって、安全な遊び場が少ない」が30.0%で続いています。
- 小学校児童では、「子どもが思うようにならないとき、イライラする」が41.8%で最も高く、次いで「子どもにとって、安全な遊び場が少ない」が40.5%、「出産・育児にお金がかかりすぎる」が27.6%で続いています。

【就学前児童】



【小学校児童】

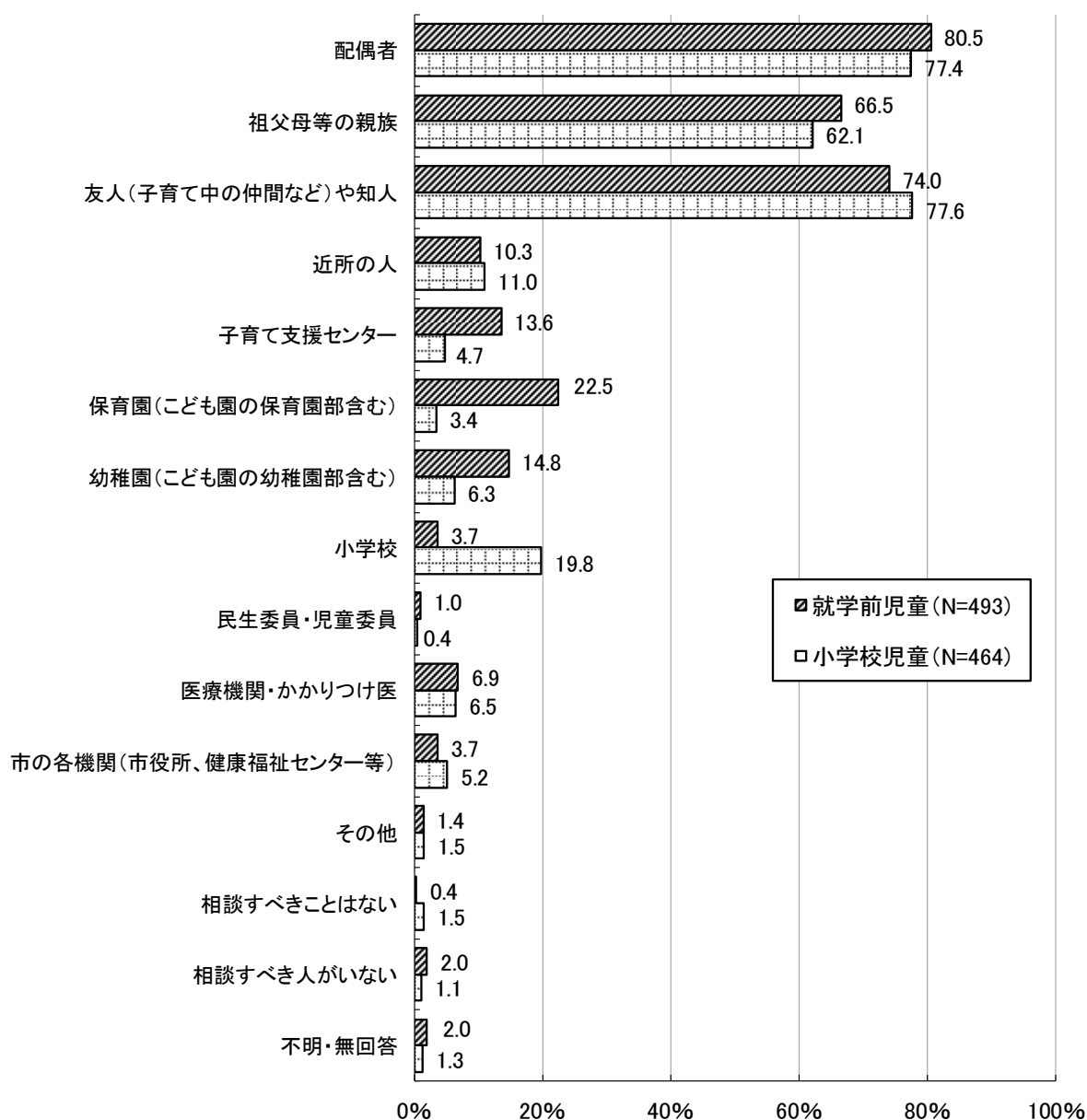


(7)

子育てに関する悩みをどのような人・機関に相談していますか。(すべてに○)

【就学前児童 問30】 【小学校児童 問15】

- 就学前児童では、「配偶者」が80.5%で最も高く、次いで「友人(子育て中の仲間など)や知人」が74.0%、「祖父母等の親族」が66.5%が続いています。
- 小学校児童では、「配偶者」が77.4%で最も高く、次いで「友人(子育て中の仲間など)や知人」が77.6%、「祖父母等の親族」が62.1%が続いています。

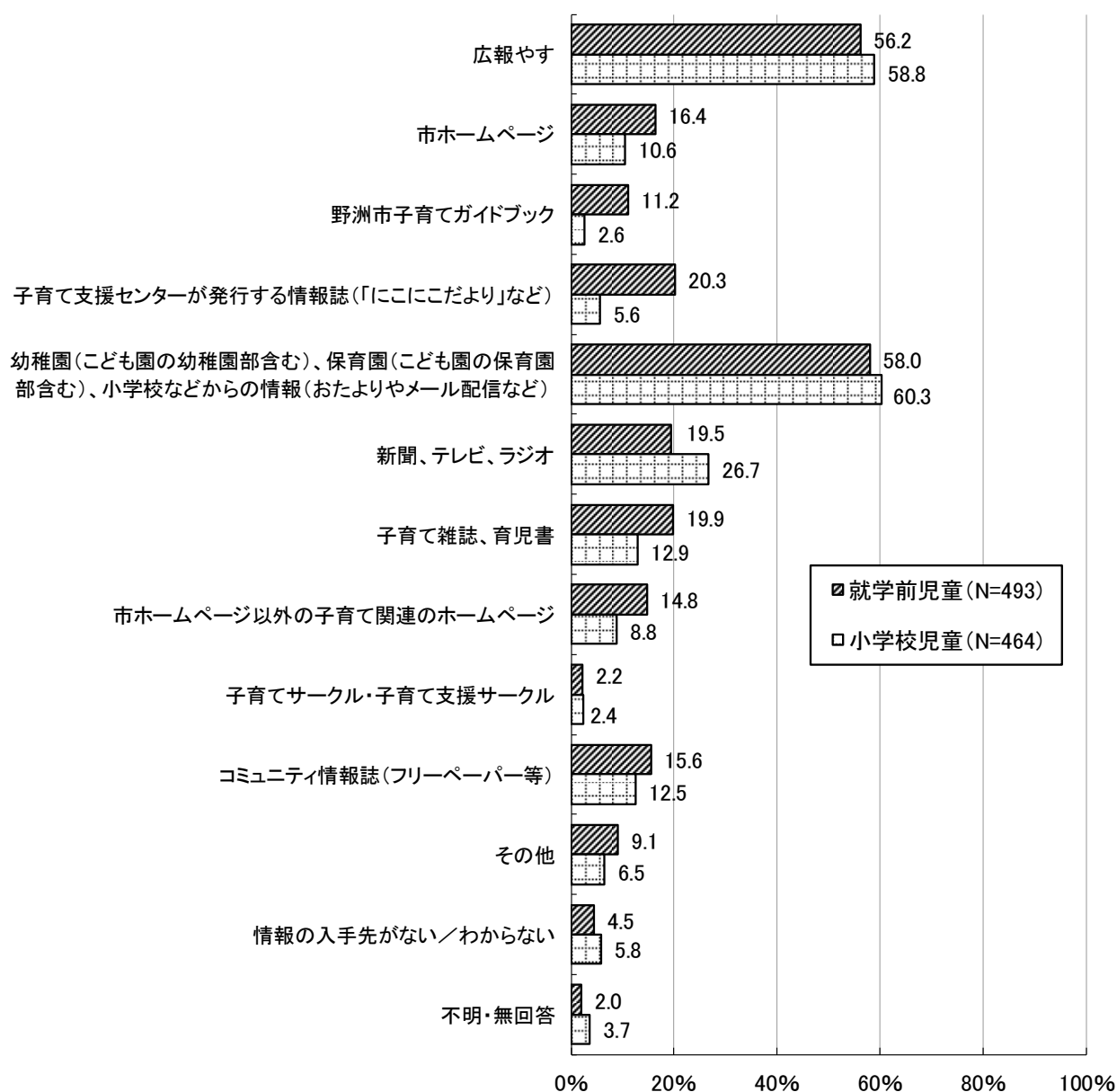


(8)

子育てに関する情報の入手先としてよく利用するものはどれですか。(すべてに○)

【就学前児童 問31】 【小学校児童 問16】

- 就学前児童では、「幼稚園（こども園の幼稚園部含む）、保育園（こども園の保育園部含む）、小学校などからの情報（おたよりやメール配信など）」が58.0%で最も高く、次いで「広報やす」が56.2%で続いています。
- 小学校児童では、「幼稚園（こども園の幼稚園部含む）、保育園（こども園の保育園部含む）、小学校などからの情報（おたよりやメール配信など）」が60.3%で最も高く、次いで「広報やす」が58.8%で続いています。

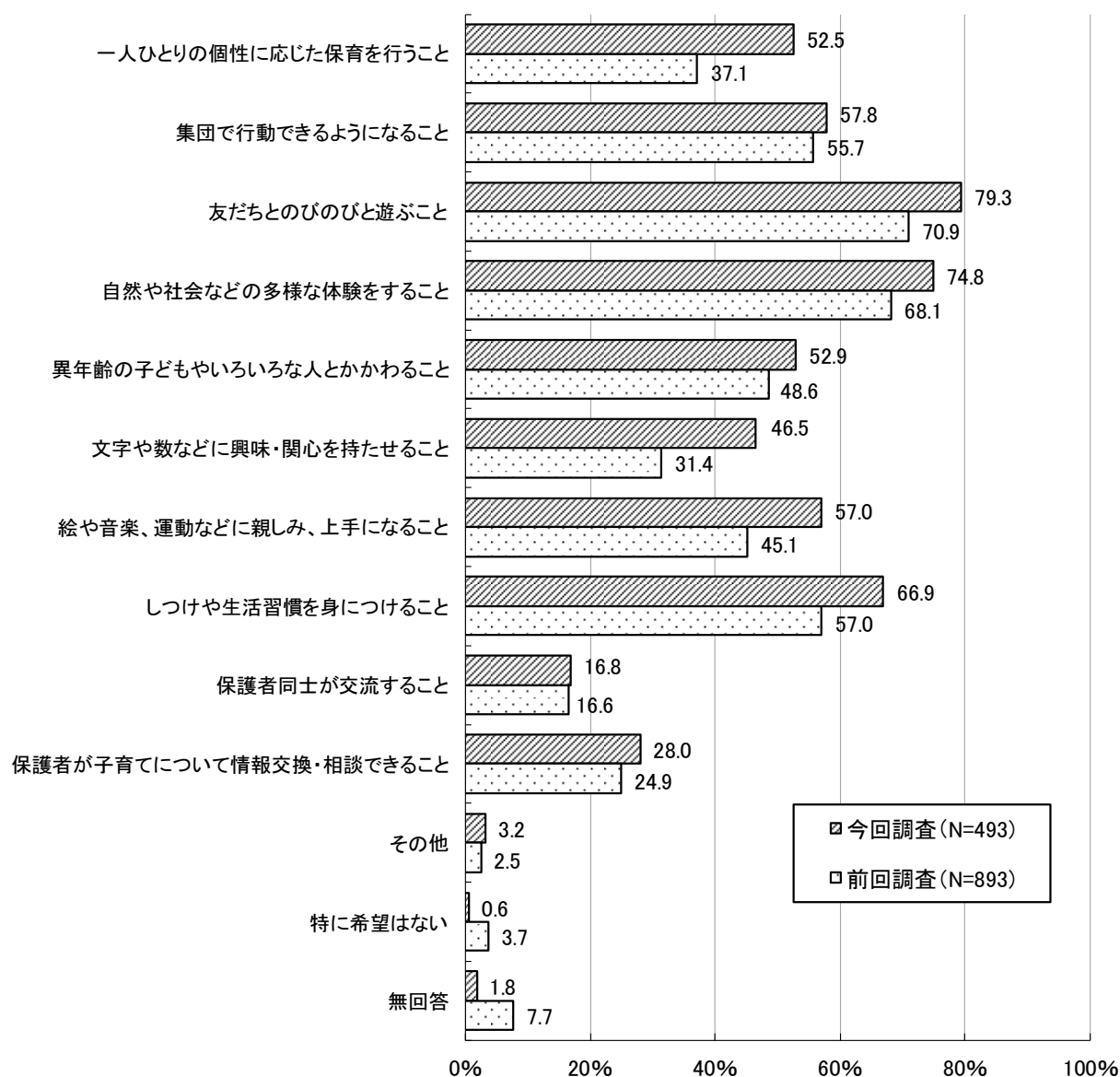


(9)

幼稚園や保育園などの施設・事業にどのようなことを望みますか。(すべてに○)

【就学前児童 問32】

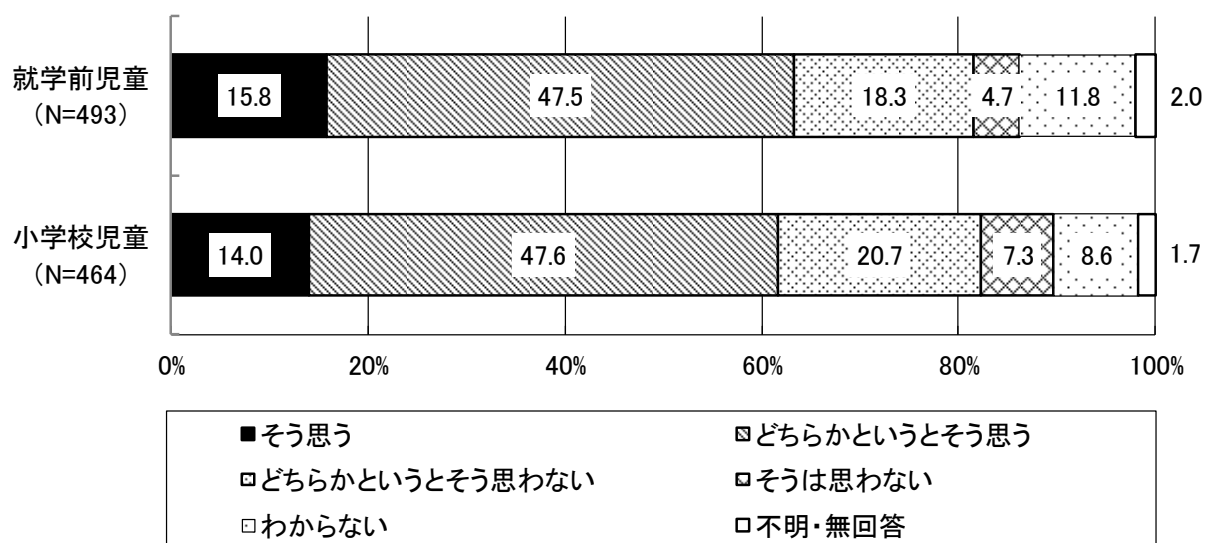
- 就学前児童では、「友だちとのびのびと遊ぶこと」が79.3%で最も高く、次いで「自然や社会などの多様な体験をすること」が74.8%、「しつけや生活習慣を身につけること」が66.9%で続いています。これら3項目は、前回調査においても上位3項目となっています。



(10)

野洲市は、子育てをしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)
【就学前児童 問 33】 【低学年 問 17】

- 就学前児童では、「どちらかというと思う」が47.5%で最も高く、次いで「どちらかというと思わない」が18.3%が続いています。
- 小学校児童では、「どちらかというと思う」が47.6%で最も高く、次いで「どちらかというと思わない」が20.7%が続いています。
- 前回調査と比べて、「そう思う」「どちらかというと思う」という肯定的な評価の割合には大きな変化は見られません。

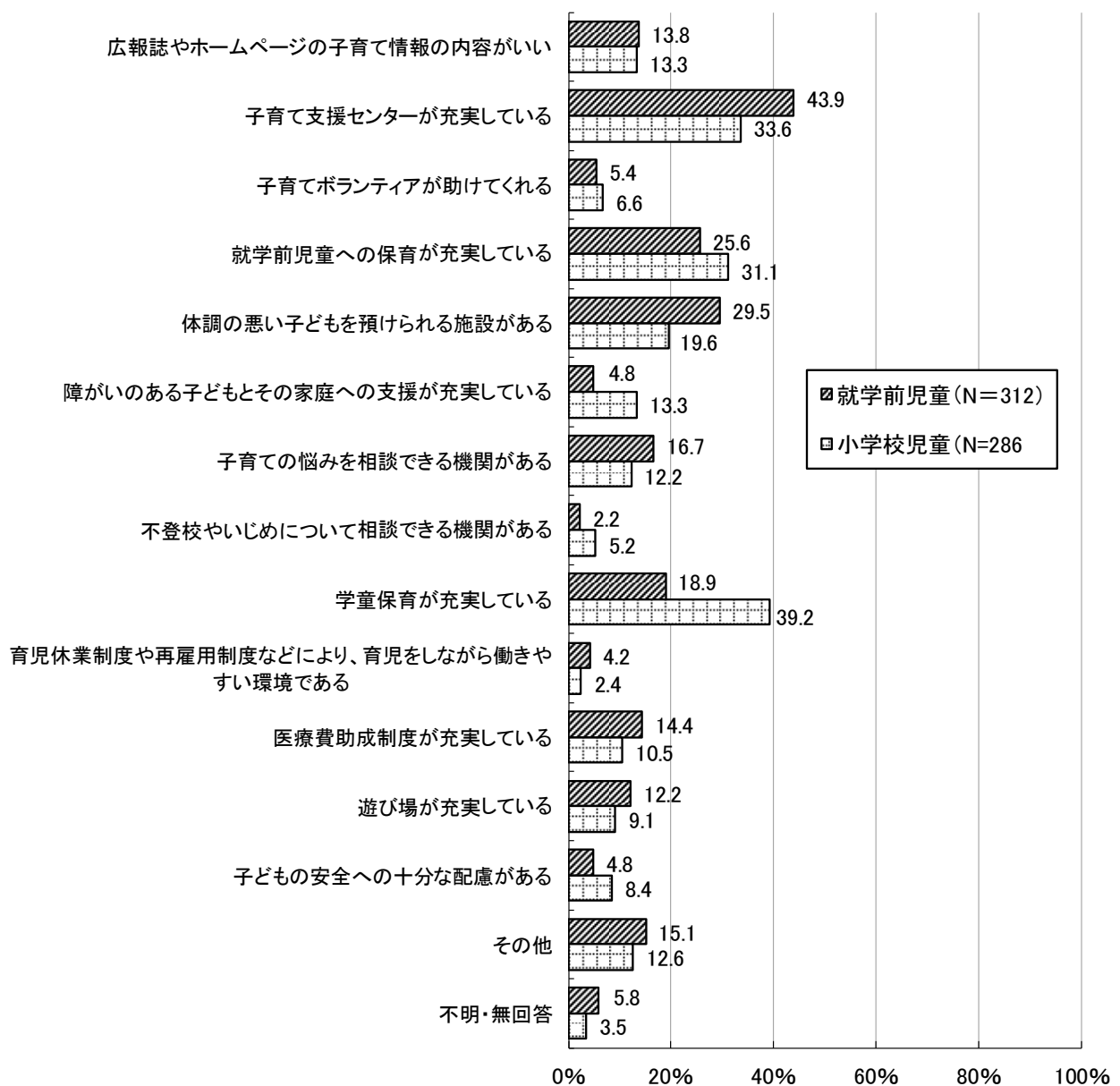


(11)

(10) で「そう思う」、「どちらかというと思う」に○をつけた方にうかがいます

野洲市のどのようなところが、子育てをしやすいと感じますか。(すべてに○)
【就学前児童 問 34】 【小学校児童 問 18】

- 就学前児童では、「子育て支援センターが充実している」が43.9%と最も高く、次いで「体調の悪い子どもを預けられる施設がある」が29.5%、「就学前児童への保育が充実している」が25.6%で続いています。
- 小学校児童では、「学童保育が充実している」が39.2%と最も高く、次いで「子育て支援センターが充実している」が33.6%、「就学前児童への保育が充実している」が31.1%で続いています。

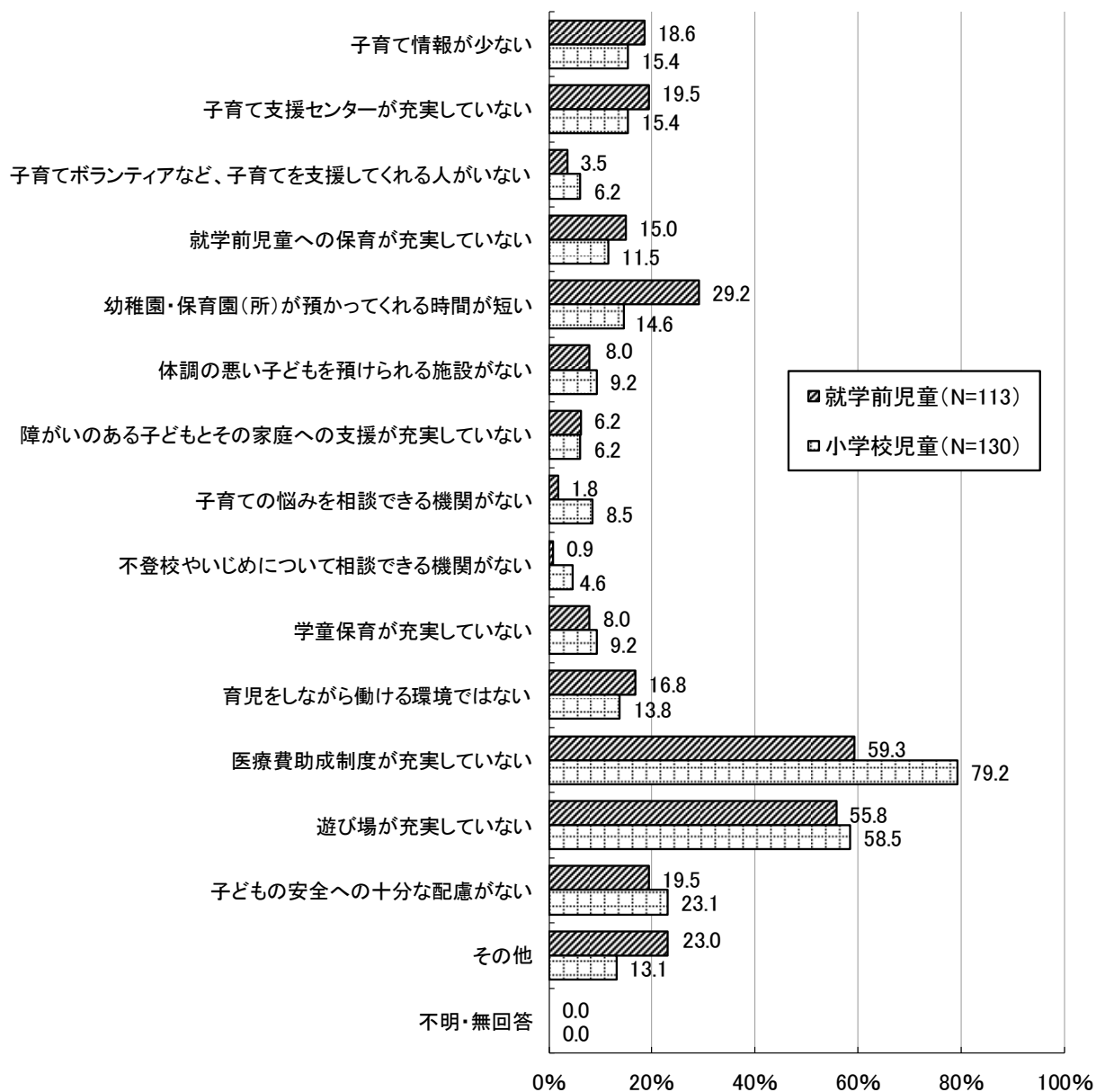


(12)

(10) で「どちらかというと思わない」、「そうは思わない」に○をつけた方にかがいます

野洲市のどのようなところが、子育てをしにくいと感じますか。(すべてに○)
【就学前児童 問 35】 【小学校児童 問 19】

- 就学前児童では、「医療費助成制度が充実していない」が59.3%で最も高く、次いで「遊び場が充実していない」が55.8%、「幼稚園・保育園(所)が預かってくれる時間が短い」が29.2%で続いています。
- 小学校児童では、「医療費助成制度が充実していない」が79.2%と最も高く、次いで「遊び場が充実していない」が58.5%、「子どもの安全への十分な配慮がない」が23.1%で続いています。



(13)

野洲市（お住まいの地域）における子育ての環境や支援への満足度について、あてはまる番号（1 満足度が低い ⇔ 5 満足度が高い）に○をつけてください。（1つに○）

【就学前児童 問 36】 【小学校児童 問 20】

- 就学前児童では、「3」が48.5%で最も高く、次いで「4」が27.8%、「2」が17.0%、「5」が2.4%、「1」が1.8%となっています。
- 小学校児童では、「3」が45.9%で最も高く、次いで「4」が27.8%、「2」が16.8%、「5」が3.0%、「1」が4.7%となっています。

